

ア. 平成 28 年度事業の報告

平成 28 年度事業報告

平成 28 年度事業の結果を次のとおり報告します。

I 組織の概要

1 名称

公益社団法人 静岡県建築士会

2 建築士会の責務（建築士法第 22 条の 4 第 1 項）

その名称中に建築士会という文字を用いる一般社団法人は、建築士の品位の保持及びその業務の進歩改善に資するため、社員の指導及び連絡に関する事務を行うことを目的とし、かつ、建築士を社員とする旨の定款の定めがあるものでなければならない。

3 設立・組織・規模

- (1) 目的 建築士の品位の保持と技術の向上及びその業務の進歩改善を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。
- (2) 設立 昭和 26 年 11 月 25 日
- (3) 法人認可 昭和 27 年 6 月 12 日
- (4) 会長 佐藤博行
- (5) 役員 理事 16 人（定数：15 人以上 20 人以内）
会長 1 人、副会長 3 人、常務理事 3 人、理事 9 人
監事 4 人（定数：3 人以上 5 人以内）
- (6) 組織 本会、3 ブロック及び 15 地区で構成
- (7) 会員数 正会員 1,234 名、賛助会員 163 社、計 1,397 名（H29. 3.31 現在）

4 特記事項

国の公益法人制度改革により、本会は、平成 20 年 12 月 1 日から特例民法法人として存立してきたが、この間、公益社団法人移行への検討、準備を進め、平成 24 年 4 月 1 日付で公益社団法人静岡県建築士会として設立された。

- (1) 平成 23 年 9 月 29 日 臨時総会にて公益社団法人静岡県建築士会定款(案)を承認
- (2) 平成 23 年 12 月 27 日 静岡県知事に公益社団法人移行認定書を提出
- (3) 平成 24 年 3 月 23 日 静岡県公益認定等審議会が認定処分相当の答申
- (4) 平成 24 年 3 月 27 日 静岡県知事から公益社団法人移行認定書が交付

II 本会

A 会議

1 総会

- (1) 定時総会 28.6.10(金)
会場 静岡グランドホテル中島屋
ア. 平成 27 年度事業の報告
イ. 平成 27 年度収支決算（計算書類）の承認の件
ウ. 平成 28 年度事業計画の報告
エ. 平成 28 年度収支予算の報告
オ. 理事及び監事の選任の件

2 理事会（7回）

- (1) 第 1 回 28.5.18(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 平成 27 年度事業報告及び財務諸表について
 - ウ. 平成 28 年度定時総会に付議すべき事項の決定について
 - エ. 平成 28 年度定時総会について
 - オ. 委員会・機構組織の改編と機構規約について
 - カ. 熊本地震の義援金について
 - キ. 熊本地震の被災状況調査について
- (2) 第 2 回 28.6.10(金)
 - ア. 代表理事の選定について
 - イ. 副会長及び常務理事の選定について
- (3) 第 3 回 28.7.20(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 平成 28・29 年度委員会・機構等委員の承認について
 - ウ. 相談役の委嘱について
- (4) 第 4 回 28.9.21(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 耐震診断ソフトのバージョンアップについて
 - ウ. 定期コンテナボックスについて
- (5) 第 5 回 28.11.16(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 定期コンテナボックスについて
 - ウ. 理事会の日程変更について
- (6) 第 6 回 29.1.20(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 平成 29 年度当初予算の編成状況について
- (7) 第 7 回 29.3.15(水)
 - ア. 新入会員の承認について
 - イ. 平成 29 年度事業計画（案）について
 - ウ. 平成 29 年度当初予算（案）について
 - エ. 平成 29 年度役員会の日程等について

3 監査会（2回）

- (1) 第 1 回 28.5.9(月)
 - ア. 平成 27 年度主要事業及び一般会計の決算監査
(監事 4 名、会長・副会長)
- (2) 第 2 回 28.11.4(金)
 - ア. 平成 28 年度主要事業及び一般会計の中間監査
(監事 4 名、会長・副会長)

B その他の会議

- 1 総務会 (11 回)
- 2 予算委員会 (5 回)
- 3 機構・委員会等
 - (1) 会員厚生委員会 (2 回)
 - (2) 事業研修委員会 (2 回)
 - (3) 青年企画委員会 (4 回)
 - (4) 広報情報委員会 (12 回)
 - (5) 景観・まちづくり委員会 (7 回)
 - (6) しずおか木造塾委員会 (6 回)
 - (7) 試験機構 (6 回)
 - (8) 地震関連業務受託機構 (2 回)

C 公益目的事業等の活動

1 建築士資格付与・資質向上事業（公益目的事業1）

(1) 建築士試験・登録事務等

ア. 建築士試験及び合格者の名簿登録等の事業

建築士法に基づき建築士の資格の付与のための資格審査、試験等の業務及び指定登録機関として、合格者の名簿登録、免許証交付等の業務を適正、確実に処理する。

(ア) 一級建築士・二級建築士・木造建築士の試験業務受託

(イ) 一級建築士等の登録申請受付業務

(ウ) 二級・木造建築士の登録・閲覧に関する業務

① 建築士試験業務

・二級建築士・木造建築士 申込受付業務

28.4.7（木）～4.11（月）

会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ

受付会場申込人数 二級 331人、木造 10人（合計665名）

（インターネット申込人数 二級 279人、木造 5人）

（郵送申込人数 二級 39人、木造 1人）

・一級建築士 申込受付業務

28.5.12（木）～5.16（月）

会場 静岡労政会館

受付会場申込人数 一級 197人（合計849名）

（インターネット申込人数 一級 578人）

（郵送申込人数 二級 74人）

・二級建築士 学科試験業務

28.7.3（日）

会場 静岡県立静岡城北高校

実受験者数 458人

合格者数 204人（合格率44.54%）

・一級建築士 木造建築士 学科試験業務

28.7.24（日）

会場 静岡県立大学

一級建築士 実受験者数 581人

合格者数 96人（合格率16.52%）

木造建築士 実受験者数 14人

合格者数 5人（合格率35.71%）

・二級建築士 製図試験業務

28.9.11（日）

会場 静岡県立静岡城北高校

実受験者数 269人

合格者数 128人 (合格率 47.584%)

・一級建築士 木造建築士 製図試験業務

28.10.9 (日)

会場 静岡県立科学技術高校

一級建築士 実受験者数 185人

合格者数 75人 (合格率 40.54%)

木造建築士 実受験者数 5人

合格者数 2人 (合格率 40.00%)

② 登録申請受け実績

29.3.31 現在

手続の種類	平成 28 年度分			
	一級 建築士	構造・設備 一級建築士	二級・木造 建築士	合計
新規	80	4	119	203
再交付	13	0	17	30
事変書換え	13	1	34	48
再交付+事変 書換	0	0	3	3
携帯免許変更	25	0	21	46
合計	132	5	194	331

イ. 専攻建築士の認定事業

(ア) 専攻建築士の更新登録と認定申請の促進及びPR

(イ) 専攻建築士審査評議会関係会議の開催

・専攻認定制度の運営管理

<事業目的・趣旨>

より高度で専門的な知識と技術を併せ持つ建築士を認定し、社会からの期待と信頼に応える専攻建築士制度の事業の推進と制度のPRを図った。

<委員会開催>

第一回 28.9.6 (火) 本会事務局 4名

<事業内容>

専攻建築士審査会の開催

第二回 (予備審査会) 29.2.9 (木) 本会事務局 5名

第三回 (審査会) 29.2.10 (金) 郵送による在宅審査 10名

<事業効果>

専攻建築士の登録更新者 2領域 2名

(2) 建築士の資質向上のための研修等の事業

ア. 法第 22 条の 4 第 5 項等に基づく研修

(ア)「建築技術に関する講習会」の開催

<事業目的・趣旨>

建築士法第22条の4に定められたとおり、建築士会の義務として全ての建築士に対してその業務に必要な知識及び技能の向上を図る機会を提供するため、省エネ基準の説明解説、並びに用途変更に伴う注意点や法改正後の適合判定についての専門的な知識や情報を提供した。

<開催時期・場所>

29.3.7(火) プラサヴェルデ 401 会議室

<参加人数>

会員 16 名 非会員 5 名 (合計 21 名)

<事業内容>

第一部

テーマ 『目からウロコのホウ酸の話』

講師：(一社)日本ホウ酸処理協会

理事 浅羽 健介 氏

1-1. ホウ酸による防蟻処理とその実績

1-2. ホウ酸による木材劣化対策とその実績、その他

第二部

テーマ 『災害に強い環境配慮型地盤改良』

講師：(一社)住宅不動産資産価値保全保証協会

理事 山下 英俊 氏

2-1. 環境にやさしい天然素材を使用した地盤改良

2-2. その種類と不動産資産価値について

<事業効果>

住宅の資産価値に直結する地盤・防蟻防蟻処理について理解ができた。

(イ) しずおか木造塾の開催

<事業目的・趣旨>

建築士の継続教育の一環として、木造の設計・施工に主眼をおき、実務面で役立つ5回の連続講座を開催した。平成12年度から開催し18年目で、講座内容は会報紙「建築静岡」にて情報提供を行った。非会員も受講可能とすることで建築士会への参加を促した。

<開催場所>

・静岡県産業経済会館3階大会議室

<参加人数>

・87名(会員46名・非会員41名)

<事業内容・開催日>

第1講座 28.9.24(土)

テーマ 「住宅の省エネ技術をマスター」

辻 充孝 氏(岐阜県立森林アカデミー・岐阜)

第2講座 28.10.15(土)

テーマ 「伊礼 智の住宅設計作法」

伊礼 智 氏(伊礼 智設計室・東京)

テーマ 「大工技術を活かした居心地よい家づくり」

田中 健司 氏 (田中工務店・東京)

第3講座 28.11.26 (土)

テーマ 「ヤマベの木構造の肝を学ぶ」

山辺 豊彦 氏 (山辺豊彦構造設計事務所・東京)

第4講座 29.1.28 (土)

テーマ 「木の良さを活かした家づくり」

安井 昇 氏 (桜設計集団・東京)

テーマ 「もとめる断熱レベルと省エネレベル」

南 雄三 氏 (住宅技術評論家・東京)

第5講座 29.2.25 (土)

テーマ 「建築家 藤井厚二の住宅作品の魅力語る」

松隈 章 氏 (聴竹居倶楽部・京都)

テーマ 「野沢正光の住宅設計作法・住宅遺産トラスト」

野沢 正光 氏 (野沢正光建築工房・東京)

<事業効果>

今年度は全5回の講座を開催し、木造規模の設計を行う際に必要な知識を「構造」「意匠」「施工」「省エネ」と各分野にわたる内容の講座を実施した。会員、非会員を問わず幅広い受講生を集め、各分野で活躍されている講師陣の講座は基本から応用まで分かりやすく、充実した研修となった。

(ウ) 各ブロックにおける研修、講習会及び見学会等の開催
ブロック事業参照

イ. 法第22条の2に基づく研修(定期講習会)

(ア) 未受講者が出ないよう制度の周知方法等の検討

(イ) 受講者の便宜を考慮した受講者増加のための方策の検討

<事業目的・趣旨>

平成20年11月28日に施行された改正建築士法の規定により、建築士事務所に所属する建築士は、3年毎に国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う「建築士定期講習」の受講が義務付けられた。建築士がその義務を遅滞なく遂行するため、(公財)建築技術教育普及センターと共同してこの事業を実施した。

<開催時期、場所及び参加人数>

第2期分

(開催日)	(会場)	(参加者)
28.8.26 (金)	アクトシティ浜松	69名
28.9.6 (火)	静岡労政会館	76名
28.9.14 (水)	プラサヴェルデ	78名 (合計223名)

第4期分

29.2.10 (金)	アクトシティ浜松	43名	
29.2.22 (水)	プラサヴェルデ	34名	
29.3.10 (金)	静岡労政会館	46名	(合計123名)

<事業内容>

改正建築士法に定められた「建築士定期講習」の実施

- ・建築物の建築に関する法令に関する科目
- ・設計及び工事監理に関する科目

<事業効果>

今年度は、東部・中部・西部3か所での開催を2回行うことにより、会員及び建築士の講習会への参加を容易にし、新規及び更新者が確実に定期講習を受講し、建築士としての業務を滞りなく継続できる機会を提供した。

ウ. 継続能力開発 (CPD) 制度

- (ア) 行政機関の実施する入札等で単位取得者への優遇措置導入への働きかけ
- (イ) 非会員及び建築施工管理技士へのCPD参加推進

- ・CPD登録制度

<事業目的・趣旨>

建築士が良好な質の高い建築環境の構築に資するため、指定した研修等を受講したり、建築相談等の社会貢献活動をすることで単位を付与する制度であり、CPD制度の事業の推進と制度のPRを図ると共に、行政機関における入札等で単位取得者への優遇措置導入への働きかけを推進した。

本年度登録更新料未納者の継続意志確認を行い、登録者数の確定を行った。

<委員会開催>

28.8.4 (木) 本会事務局 参加者6名

<事業内容>

CPD登録更新

- ・平成28年6月1日(水)～6月30日(木)及び随時受付

CPDプログラム認定

- ・毎月1回認定審査

<事業効果>

CPD登録者数を維持できた。 合計418名 29.2.6現在

(内訳：正会員304名、賛助会員7名、非会員107名)

エ. 地震関連の資格取得のための講習会

想定される東海地震に備え、県指定の講習会を受託するなど、県の施策に積極的に協力していく。

- (ア) 応急危険度判定士講習会の受託、実施

静岡県地震被災建築物応急危険度判定士養成講習会を開催した。

<新規・更新対象者>

(開催日)	(会場)	(参加者)
28. 11. 30 (水)	島田土木事務所	55名
28. 12. 9 (金)	熱海総合庁舎	21名
28. 12. 15 (木)	浜松総合庁舎	94名
28. 12. 19 (月)	静岡県庁	181名
29. 1. 13 (金)	袋井土木事務所	49名
29. 1. 20 (金)	東部総合庁舎	92名 (合計 492名)
講師 会員 6名		

(イ) 静岡県耐震診断補強相談士の養成・更新

(一財)日本建築防災協会主催の国土交通大臣登録／木造耐震診断資格者講習及び木造住宅の耐震改修技術者講習会を受託し開催した。

<1日目 木造耐震診断資格者講習>

(開催日)	(会場)	(参加者)
28. 6. 21 (火)	静岡商工会議所	180名
28. 9. 28 (水)	プラサヴェルデ	129名
28. 10. 12 (水)	アクトシティ浜松	133名
28. 11. 21 (月)	静岡労政会館	111名
29. 1. 16 (木)	静岡労政会館	135名 (小計 688名)

<2日目 木造住宅の耐震改修技術者講習会>

28. 6. 22 (水)	静岡商工会議所	80名
28. 9. 29 (木)	プラサヴェルデ	54名
28. 10. 13 (木)	アクトシティ浜松	51名
28. 11. 22 (火)	静岡労政会館	46名
29. 1. 17 (金)	静岡労政会館	49名 (小計 280名)
講師	(一財)日本建築防災協会	(合計 968名)

オ. 建築士を目指す者への支援

建築家を目指す高校生や建築士の受験資格を有し、建築士を目指す者に対する支援を実施する。

(ア) 建築甲子園の静岡大会の開催

<2016年第7回建築甲子園県内予選>

- ・開催日 28. 11. 20 (土)
- ・会場 浜松市市民協働センター ギャラリー
- ・参加校及び作品名 (4校5チーム)
 - ①静岡県立科学技術高校 「リノ Bay ション～蓄積する関わり～」
 - ②静岡県立島田工業高校 「結びの旅宿」
 - ③静岡県立天竜高校 「ENJOY!WOOD JOB 山男復活プロジェクト」

④静岡県立浜松工業高校 「多文化共生砂山塾」
「時代に合わせる商店街」

- ・県予選結果 (優勝) 静岡県立科学技術高校
(準優勝) 静岡県立天竜高校
- ・全国大会結果 優勝・準優勝校の2作品を全国大会にエントリーした結果、
両校ともに奨励賞を受賞。

(イ) 後継者の養成

- ①一級建築士製図試験課題の施設見学会 東部・西部ブロック
- ②二級建築士製図講習会 中部ブロック
- (詳細 ブロック事業参照)

2 地域住民との連携、地域の安全確保のための事業（公益目的事業2）

(1) まちづくり、景観形成事業

ア. 景観整備事業

地域の良好な景観の形成に関する専門家の育成、情報の提供、その他の支援活動を推進する。

(ア) 地域貢献・まちづくり会議

<事業目的・趣旨>

静岡県建築士会は、平成25年9月に静岡県ヘリテージセンター（SHEC）を開設し、歴史的建造物の維持保全・活用のため、建築士、職人、行政等のネットワークを構築するとともに、歴史的建造物をまちづくりに活かすための事業を行ってきた。しかしながら、歴史的建造物の維持保全にはさまざまな課題があることから、それぞれの地域の個別事例を学ぶことで、建築士としての自己研鑽と更なる資質の向上に繋げる。

また、これまで地域貢献活動助成を受けた活動団体から、その後の活動について報告を受け、今後の地域貢献・まちづくりについて考察する。

<開催場所・時期>

29.3.4（土） 焼津公民館

午前：焼津市花沢地区及び浜通りの町歩き

午後：①「地域貢献活動助成その後」

発表 しみず蔵倶楽部（地域貢献活動助成OB団体）

②講演「寺院建築の見方・調べ方」

村田 信夫 氏（歴史的建造物修復家）

③講演「活かしてまもる歴史的建築・歴史的町並み」

木村 勉 氏（長岡造形大学名誉教授）

<参加人数>

50名（SHEC構成員及び建築士会会員、大工、左官、瓦職人、一般市民）

<事業内容>

テーマ 「歴史的建築・町並みを、いかに保全し、まちづくりに活かすか」

<事業効果>

焼津市花沢地区及び浜通りの歴史的建造物と町並みについて現地調査(まち歩き)を行うとともに、関係者が一堂に会して耐震改修や維持保全・活用に関する知識を学び、情報共有することができた。

(イ) 美しいしずおか景観推進機構(県主宰)への参加、協力

・静岡県景観賞

<事業目的・趣旨>

県民共通の資産である県土の景観に関する啓発活動を行うことにより、しずおかの美しさを守り、育て創ることに寄与する。

主催 美しいしずおか景観推進協議会(本建築士会は構成団体)

<事業内容>

静岡県景観賞の選考・授与

5部門 民間施設、公共施設、まちなみ、田園・農山魚村、景観づくり活動

1部門1件の優秀賞

優秀賞の中から優れた1地区を最優秀賞(知事賞)とする。

・知事賞 『豊岡中央交流センター』に決定(公共施設部門)

・静岡県建築士会賞 『新居関所を中心とした歴史的まちなみ』(まちなみ部門)

<募集期間・審査>

募集 28.5.27(金)~28.7.21(木)まで

書類審査 28.8.10(水) 書類審査

現地審査 28.9.7(水)、9.27(火)(最終審査委員会)

表彰式 28.11.25(金) 県庁別館21階

審査員 建築士会から1名

<事業効果>

静岡県が推進する景観賞事業の構成団体として寄与し、優れた景観形成の開発に貢献することができた。

《その他の事業》

①PR活動

市町へ景観整備機構のPR、景観行政団体へ景観整備機構の指定を要請。

・静岡市、下田市、熱海市、伊東市、裾野市、御殿場市、伊豆の国市、伊豆市、富士宮市、島田市、牧之原市、掛川市、磐田市、湖西市の各市へ働き掛けを行った。(景観法第92項第1項に規定する景観整備機構の指定)

②「建築静岡」景観整備機構・瓦版連載毎号1頁

景観整備機構・瓦版を毎号1頁連載

(2) 県民の安全確保のための事業

ア. 住宅の耐震診断

(ア) 「わが家の専門家診断事業」(受託事業)

この事業は、プロジェクト「TOUKAI-0」事業の一環として、住民がわが家の耐震性を知り、耐震改修の重要性を理解することにより耐震改修工事を促進することを目的に実施した。

市 町	受託 件数	市 町	受託 件数
下 田 市	15	御 殿 場 市	147
東 伊 豆 町	3	小 山 町	199
河 津 町	11	御殿場地区計 2	346
南 伊 豆 町	10	静岡市(清水区)	178
松 崎 町	6	清 水 地 区 計(1)	178
西 伊 豆 町	10	静岡市(葵・駿河区)	189
賀茂地区計 6	55	静 岡 地 区 計 1	189
伊 東 市	73	御前崎市(旧御前崎町)	0
伊東地区計 1	73	牧之原市(旧相良・榛原町)	53
熱 海 市	23	吉 田 町	16
熱海地区計 1	23	榛 原 地 区 計 3	69
三 島 市	36	掛 川 市	167
伊 豆 市	13	菊 川 市	30
伊豆の国市	18	御前崎市(旧浜岡町)	9
函 南 町	20	小 笠 地 区 計 2(1)	206
三島地区計 4	87	磐 田 市	126
沼 津 市	109	袋 井 市	26
清 水 町	20	森 町	12
長 泉 町	28	中 遠 地 区 計 3	164
沼津地区計 3	157	浜 松 市	380
裾 野 市	70	浜 松 地 区 計 1	380
裾野地区計 1	70	合計 28(2)	1,997

(イ) 「木造住宅補強計画策定事業」(受託事業)

旧耐震の木造既存住宅で耐震性に不安のある住宅を対象に、各住宅に向いて老朽度を確認しながら補強計画の策定を行うと共に、耐震補強に繋がる相談等を行った。

<業務の内容>

国土交通省告示第184号(平成18年1月25日)による方法、「静岡県耐震診断補強マニュアル(改訂版)平成21年8月及び、木造住宅の耐震リフォーム事例集(静岡県発行)に基づき行った。

・木造住宅の補強計画の策定

・木造住宅の耐震補強につながる相談、安全な住まい方指導、概算工事費算出等

<対象市> 三島市

<実績> 25件

- ・ 図面有 わが家の耐震診断の実施有 1 件
- ・ 同 わが家の耐震診断の実施無 2 件
- ・ 図面無 わが家の耐震診断の実施有 8 件
- ・ 同 わが家の耐震診断の実施無 14 件 (合計 25 件)

(ウ) 「木造住宅耐震戸別訪問事業」(受託事業)

昭和 56 年以前に建築され、耐震補強工事を実施していない木造住宅の所有者等に対し、住宅の耐震化についての意向調査を実施し、その際、耐震補強の必要性を説明するとともに、補助金制度の周知を行うことにより、耐震診断・補強工事の実施を誘導することで耐震化率の向上を推進した。

<業務の内容>

「静岡県耐震診断補強相談士認定人制度要綱」により認定された相談士が、既存住宅の耐震化を促進するための普及啓発等に係る戸別訪問を行い、住民の意向を調査した。

- <対象市・地区> 沼津市 北部地区
 <実績> 調査件数 1,460 戸

イ. 応急危険度判定

(ア) 総合防災訓練等における応急危険度判定士訓練の実施

平成 28 年度静岡県・掛川市総合防災訓練における地震被災建物応急危険度判定士訓練を実施した。

① 第 1 回当事者会議(準備会)

- ・ 開催日 28.5.31 (火)
- ・ 会場 掛川市大東市民交流センター及び旧大東体育館
- ・ 参加者 1 名

② 第 2 回当事者会議(模擬訓練)

- ・ 開催日 28.9.4 (日)
- ・ 会場 掛川市大東市民交流センター及び旧大東体育館
- ・ 参加者 1 名

(イ) 静岡県東海地震対策士業連絡協議会

想定される東海地震に対し専門家職能団体及びその構成員が専門知識を生かし、防災活動並びに災害復興、被災住民の支援活動を行うため、士業間でさらなる協議・連携強化を深めた。

- ・ 開催日 28.8.26 (金)
- ・ 会場 静岡県弁護士会館
- ・ 参加者 1 名

ウ. 熊本地震における建築物の被災状況調査事業

<事業目的・趣旨>

平成 28 年 4 月 14 日(前震)及び 4 月 16 日(本震)に発生した震度 7 の熊本地震は、建築物等に大きな被害をもたらした。被災から 4 ヶ月が経過し、被災建築物応急危険度判定、被災宅地危険度調査、家屋被害認定調査の行政による一連の調査が終わり、文化庁による指定文化財の文化財ドクター調査が進められていた。一方で公費解体が行われると同時に、被災した RC 造・S 造の建築物や木造民家など手付かずの建築物が数多く存在し、新耐震設計における建物にも被害が及ぶなど、被災の重さを示していた。

このような被災後の実態、復旧・復興に向けた状況を肌で感じるとともに、今後起こると予想される東海地震への対策に活かしていくため、被災した建築物等の状況及び被災後の現況を調査した。

<調査時期及び参加人数>

日 程：平成 28 年 8 月 25 日(木)26 日(金)27 日(土)の 3 日間

調査者：総括副会長、景観整備機構副代表、東部・中部・西部ブロックから各 2 名の計 8 名

<事業内容>

第 1 日目：午前 移動

午後 ①レクチャー

「熊本地震の特徴及び被災から現在までの経過、復旧・復興の現状」

日本建築士会連合会まちづくり委員会前委員長

(株)南栄開発顧問 豊永信博 氏(元熊本市職員)

②熊本市中心市街地被災建築物等の調査

第 2 日目：終日 現況調査(益城町、西原村、熊本市、宇土市)

第 3 日目：午前 現況調査(熊本市街・熊本城の被災調査)

午後 移動

<事業効果>

今回の調査結果をもとに、建築士及び静岡県建築士会が東海地震対策として取り組むべき事項を報告書として纏め、全会員及び関係機関(区市町、関係団体、大学、図書館等)に配布するとともに、各ブロック等において活用できるようパワーポイント(DVD)や PDF を作成した。この報告書を TOUKAI-0 の取り組みや応急危険度判定士制度の整備に活かすとともに、会員の技術と能力の向上を図って行く。

さらには、報告書は一般の方々にも閲覧できるよう H P に掲載した。

エ. 行政庁からの依頼事項等

(ア) 引火性溶剤を用いるドライクリーニング工場実態調査

平成 28 年度に実施した建築基準法第 48 条の建築物の用途規制違反に対する調査(受託事業)を(一社)新・建築士制度普及協会へ報告した。

・平成 29 年 3 月報告 4 件

(3) 住宅に関する展示等による情報発信事業

ア. 県民に建築技術や情報提供の場の設定、ホームページや機関紙などの情報発信

(ア) 「静岡県住まい博 2016」や地域の建築展等への参加

- ・開催日 28.7.16(土)～18(月・祝)
- ・場所 ツインメッセ静岡・南館
- ・主催 静岡県住まい博実行委員会
- ・来場者数 19,000名
- ・住まいの相談コーナー(建築士会会員による無料建築相談)
- ・静岡県建築士会の紹介及び活動PR

(イ) 機関誌「建築静岡」の発行

<事業目的・趣旨>

建築に係る最新情報や建築士会の活動状況、各種お知らせ等を定期的に会員及び県民に提供することで、建築士会に対する理解を深めてもらう。

<発行状況>

年4回

- | | | | |
|------|---------|--------------|---------|
| ・春号 | No. 656 | 28. 4. 1 発行 | 1,600 部 |
| ・夏号 | No. 657 | 28. 7. 1 発行 | 1,600 部 |
| ・秋号 | No. 658 | 29. 10. 1 発行 | 1,500 部 |
| ・新年号 | No. 659 | 29. 1. 1 発行 | 1,500 部 |

「建築静岡」とともに、日本建築士会連合会発行の機関誌「建築士」(毎月発行)を毎月会員へ郵送している。

<情報内容>

「建築静岡」には、建築時事特集、コラム、シリーズ情報、委員会等活動等連載、事業報告、お知らせ等の記事を掲載している。さらに会員への挟み込み情報を受付け、機関誌とともに発送している。

<事業効果>

機関誌の発行は、公益法人としての建築士会の社会的認知度を高める有効な手段であり、また、会員相互の連携を深めると共に資質の向上にも寄与することができた。

(ウ) ホームページの充実

<事業目的・趣旨>

24.4.1から公益法人化した建築士会のホームページは、その公益性の観点から情報公開の一層の推進を図り、より見やすく活用し易いものとなるよう随時更新しており、WEBサイトの管理及び運用に関し必要な事項を定め、各種情報を会員及び県民にリアルタイムで発信している。

<事業内容>

- ・HPトップページに9つのコンテンツを作成。(①建築士会新着情報、②関係団体新着情報、③行政新着情報、④一般新着情報、⑤活動報告新着情報、

- ⑥建築静岡新着情報、⑦東部新着情報、⑧中部新着情報、⑨西部新着情報)
- ・HPカレンダー機能を追加。
- ・公益法人として情報公開コンテンツの設置。

<事業効果>

ホームページで最新情報をリアルタイム情報で発信すると共に、相互情報の交換など、会員及び県民の利便性の向上と建築士会の円滑な運営・活動に資することができた。

(4) 建築相談事業

ア. 県民の住宅建築に関する様々な相談に対応

県下各地区において、住民からの各種建築相談に対応すべく行政等ともタイアップし定期的に無料相談会を開催している。

(ア) 展示会等における相談コーナーの設置

(イ) 市町主催の住民相談室等への派遣

(ウ) 住宅関係機関等への相談員派遣

ブロック事業参照

(エ) 行政、司法の住宅紛争事案等への専門家派遣

静岡県建設工事紛争審査会（県所管）の委員として建築士会会員6名が、さらに静岡県住宅紛争審査会処理委員（静岡県弁護士会所管）として、同5名が就任している。

3 法人管理

(1) 会員増強策等の検討

ア. 会員の減少は、組織の将来に関わる重要な問題であることから、できることから実動を図って行くこととした。

①ブロック関連事業

- ・二級建築士製図講習会 中部ブロック
 - ・一級建築士製図試験課題の施設見学会 東部・西部ブロック
 - ・浜松工業高校交流会 西部ブロック
 - ・天竜高校交流会 西部ブロック
- (詳細 ブロック事業参照)

イ. 建築士試験新規合格者への入会案内

建築士養成機関の協力の下、入学式、合格者祝賀会、卒業式へ本会関係者が出向き、建築士会の紹介をするとともに入会を働きかけた。

(2) 予算委員会の設置

平成28年度の予算編成に当たっては、予算委員会(予算担当理事を委員長に3副会長を委員とする。)を設置し、費用対効果を意識した事業の重点化や管理運営経費の見直しなどを行い、公益社団法人に相応しい持続可能な財政運営を図っていくための検討を行った。なお、会費の滞納は、財政基盤を揺るがすものであり、不要な

手間、費用を必要とすることから、口座振替の加入を積極的に促進した。

第1回	28. 10. 19 (水)	予算委員会の設置・財務状況の把握
第2回	28. 12. 14 (水)	要求状況の把握・調整
第3回	29. 1. 11 (水)	1次査定審査
第4回	29. 2. 8 (水)	1次査定結果調整
第5回	29. 2. 24 (金)	査定結果確定
—	29. 3. 15 (水)	第7回理事会で予算承認

(3) 熊本地震の義援金

平成28年5月20日(水)開催の第1回理事会に於いて、静岡県建築士会として熊本地震の被災状況に鑑み、被災した熊本県民に対し30万円の義援金を贈る議案が上程され全会一致で承認された。5月30日に熊本県の指定する募金口座を通じ支援した。

平成29年12月19日付けで熊本県知事よりお礼状が届く。

(4) 建築士会東海北陸ブロック会

<事業目的・趣旨>

東海北陸7県の建築士会会長及び日本建築士会連合会会長が一堂に会し、建築に係る諸課題を協議するとともに、情報の共有を図ることを目的に会議を開催した。会議は各県の持ち回りであり、平成28年度は静岡県建築士会が当番県となった。

<開催日・場所・参加者>

第1回	28. 7. 8 (金)	クーポール会館	25名
第2回	28. 9. 9 (金)	クーポール会館	29名
第3回	28. 11. 25~26 (金・土)	伊豆の国市三養荘	21名
第4回	29. 3. 3 (金)	クーポール会館	26名

<特記事項>

・熊本地震に対する義援金

熊本地震の被災対応として、東海北陸ブロック会から熊本建築士会に義援金70万円(10万円×7士会)を支援した。なお、当ブロック会の財源は、(公社)日本建築士会連合会からの負担金により賄われている。

・専門部会の設置

平成27年11月に開催された第3回富山会議で、(公社)日本建築士会連合会から自治体と連携するまちづくり活動を活性化するために、防災/歴史(景観)/福祉まちづくり部会等を設置したので、これに呼応し各ブロックに於いても同様な取り組みをされたいとの要請があった。

これを受け東海北陸ブロック会としては、手始めに一つの専門部会を設置することとし、静岡士会が27年度に提案し協議していた「災害時等の非常時における歴史的建造物被災状況調査等の広域連携」を専門部会の議題として、各士会から1名の委員を選任し協議することとなった。

第1回	28. 9. 9 (金)	クーポール会館
第2回	28. 11. 14 (月)	愛知建築士会
第3回	28. 11. 25 (金)	伊豆の国市三養荘

・既存住宅状況調査技術者講習

日本建築士会連合会から開催要請があり、平成27年度に実施した既存住宅インス

ペクション（建築士会インスペクション）と、今後に実施を予定している改正宅建業法に基づく建物状況調査（既存住宅状況調査）の法的根拠及び相違点が示された。

既存住宅状況調査の受講対象は建築士に限定され、さらに既存住宅状況調査を受講すれば建築士会インスペクションの資格が併せて取得できることが報告された。

<事業効果>

各建築士会の相互の連絡、共通事項の調整、日本建築士会連合会の趣旨普及等により、建築士会の進歩改善に資することができた。

(5) その他の事業

静岡県建築文化研究会講演会（平成 28 年度幹事団体：静岡県建築士会）

<事業目的・趣旨>

建築関係 5 団体（日本建築学会東海支部静岡支所、静岡県建設業協会、静岡県建築士事務所協会、日本建築家協会東海支部静岡地域会、静岡県建築士会）による建築関係者の技術と資質の向上を図ることを目的とした講習事業を開催した。

<開催場所>

静岡県産業経済会館 3 階大会議室

<参加人数>

64 名

<事業内容・開催日>

我が国における数少ないプレ・デザインの実践者から、地震被災に対する事前・事後の建築関係者の取るべき対応について講義を受ける。

28.9.1（木）

テーマ：「東日本大震災の復興の現状と課題」

（建築関係者が事前に準備すべきこと）

講師：東北大学大学院教授 小野田 泰明 氏

<事業効果>

建築関係者が被災前にやっておくべきこと、日頃の地域住民や行政との関わり、復興デザインの準備・演習、被災者に寄り添うまちづくりとはどのようなものかを学ぶことができた。

Ⅲ ブロック

A 会議

a 東部ブロック

1 東部ブロック協議会 (8回)

第1回 28.4.20(水) 参加者 17名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・平成28年度東部ブロック事業予算について
- ・平成28年度東部ブロック協議員・地区長・委員会委員等について
- ・平成28年度東部ブロック協議会・事務等運営マニュアルについて

第2回 28.6.1(水) 参加者 17名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・委員会・機構・地区担当者名簿について
- ・事業カレンダーについて
- ・本会総会について

第3回 28.7.6(水) 参加者 18名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・新入会員の承認について

第4回 28.8.3(水) 参加者 18名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・事業カレンダーについて
- ・新入会員の承認について

第5回 28.10.5(水) 参加者 16名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・平成29年度各ブロック委員会・各地区の予算について

第6回 28.12.7(水) 参加者 16名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・平成29年度事業計画案・予算案について

第7回 29.2.1(水) 参加者 17名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・新入会員について

- ・東部ブロック事務局の移転について
- ・平成29年度各ブロック委員会・各地区の予算について

第8回 29.3.22(水) 参加者 17名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告について
- ・その他

2 会員厚生委員会 (6回) 委員会会議

(4/28、5/19、6/23、9/15、10/20、1/19)

3 事業研修委員会 (8回) 委員会会議

(4/13、5/11、6/24、7/28、8/30、10/7、12/8、2/14)

4 青年企画委員会 (8回) 委員会会議

(4/16、5/28、6/25、8/6、9/3、10/15、11/12、2/11)

5 まちづくり委員会(4回) 委員会会議

(4/27、9/21、12/20、2/15)

b 中部ブロック

1 中部ブロック協議会 (8回)

第1回 28.4.21(木) 参加者 21名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・新入会員承認手続きについて
- ・収支決算及び28年度本会収支予算について

第2回 28.5.19(木) 参加者 19名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・全国大会、ブロック報告会について
- ・中部ブロック地震関連組織体制について

第3回 28.6.16(木) 参加者 16名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・新入会員オリエンテーションについて
- ・ブロック報告会と夏季懇親事業について

第4回 28.8.18(木) 参加者 20名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・全国大会について
- ・後期事業日程について

第5回 28.10.20(木) 参加者 17名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・「空家に関するワンストップ広域相談会」相談員派遣について
- ・インスペクター養成講座について
- ・29年度予算編成について

- 第6回 28.12.15(木) 参加者 19名
- ・常設委員会・地区報告について
 - ・29年度予算編成について
- 第7回 29.1.25(水) 参加者 19名
- ・常設委員会・地区報告について
 - ・会員動向及び年会費納付状況について
 - ・熊本地震における建築物の被災状況調査報告及び義援金御礼について
- 第8回 29.2.16(木) 参加者 19名
- ・常設委員会・地区報告について
 - ・ブロック報告会について
 - ・29年度予算案について
 - ・中部ブロック事務局移転について
- 2 会員厚生委員会(10回)**
委員会会議
(4/12、5/12、6/9、7/20、9/8、11/10、12/5、1/12、2/6、3/29)
- 3 事業研修委員会(11回)**
委員会会議
(4/8、5/13、6/10、7/15、8/5、9/9、10/7、12/2、1/13、2/3、3/3)
- 4 青年企画委員会(7回)**
委員会会議
(5/28、7/2、9/6、9/17、11/19、12/21、2/16)
- 5 まちづくり委員会(6回)**
委員会会議
(5/13、7/6、8/5、10/7、1/12、3/10)
- c 西部ブロック**
- 1 西部ブロック協議会(6回)**
- 第1回 28.4.1(金) 参加者 26名
- ・平成27年度事業報告会について
 - ・平成28、29年度役員候補者について
 - ・ブロック協議会組織の改編について
 - ・ボウリング大会精算書の承認
 - ・「東海北陸ブロック会女性建築士協議会」愛知大会参加精算書の承認
 - ・平成27年度西部ブロック活動報告資料作成についての予算書の承認、資料提出のお願い
 - ・伊豆石の蔵パネル作成、追加調査、巡回展示の精算書の承認
 - ・地域貢献発表会参加精算書の承認
 - ・住吉ポンプ室見学会 精算書の承認
 - ・小笠地区、移動パネル展、精算書の承認
 - ・小笠地区 第3回地区会、講習会の精算書の承認
- 第2回 28.6.3(金) 参加者 19名
- ・ブロック事業報告会、精算書の承認
 - ・本会定時総会について
 - ・司法書士会「市民公開シンポジウム」共催後援について
 - ・全国大会(大分)について
 - ・家族ふれあいたい会について
 - ・「技術見学会」予算書、リーフレットの承認
 - ・6/18、19西部ブロック青年委員会主催の青年大会、予算書の承認
 - ・平成28年度西部ブロック活動報告資料作成、精算書の承認
 - ・新入会員の紹介について
 - ・上下水道フェスタの参加について
 - ・「セミナーIN掛川 精算書の承認
 - ・「移動パネル展 IN 掛川・横須賀」予算書の承認
 - ・第1回中遠地区会、講習会、予算書の承認
 - ・浜松地区「地震災害時の被災建築物応急危険度判定等に関する協定」の確認を発松市に提出
 - ・浜松市建築行政課との協議について
 - ・入退会者の承認
- 第3回 28.8.5(金) 参加者 19名
- ・司法書士会との合同市民公開シンポジウムについて 後援を承認
 - ・全国大会、予算書の承認
 - ・熊本地震に伴う調査、3名が参加
 - ・家族ふれあいたい会、詳細について
 - ・28年度西部ブロック主催、青年大会 精算書の承認
 - ・設計製図建物見学研修会について 予算書の承認
 - ・西部ブロック、ホームページ、ブログ更新研修会について 予算書の承認
 - ・第1回小笠地区会、講習会 精算書の承認
 - ・浜松地区の建築相談メンバーについて

第4回 28.10.7(金) 参加者 14名

- ・会員の動向について
- ・「空き家に関するワンストップ広域相談会」への相談員派遣について
- ・司法書士会「南海トラフシンポジウム」へ協賛金について
- ・「はままつ広告景観賞2017」への後援名義使用について 承認
- ・地震関連委員会より耐震診断ソフトのバージョンアップについて 本会に要望する
- ・家族ふれあいたい会 精算書の承認
- ・三重女性委員会視察 精算書の承認
- ・「建築探訪 in 東京・千葉」予算書の承認
- ・設計製図建物見学研修会 精算書の承認
- ・HP, ブログ更新研修会精算書の承認
- ・平成27年度事業報告パンフレット増刷について 予算書の承認
- ・第2回けんちく夜会の開催に伴う予算書の承認
- ・建築士会近畿地区大会パネル展参加に伴う予算書の承認
- ・第2回中遠、小笠地区合同講習会、地区会開催の予算書の承認
- ・しずおか町並みゼミ in 見付宿 後援名義依頼について
- ・浜松市行政区画審議会委員に山崎正浩氏を推薦
- ・慶弔報告
- ・退会の承認

第5回 28.12.2(金) 参加者 19名

- ・平成29年度事業予算について
- ・会員の動向について
- ・事務局移転について
- ・新技術講習会・新年懇親会予算書を承認
- ・「ハンズオントレーニング講習会」予算書の承認
- ・女性部会についての意見交換会予算書の承認
- ・浜工交流会、精算書の承認

- ・上下水道フェスタ・まちづくり活動成果発表 精算書の承認
- ・第2回けんちく夜会、精算書の承認
- ・「移動パネル展 IN 掛川・横須賀」精算書の承認
- ・「移動パネル展 IN 菊川3」予算書の承認
- ・「遠州横須賀ちっちゃな文化展参加事業」予算書の承認
- ・「第3回しずおか町並みゼミ in 見付宿」開催の案内
- ・退会承認

第6回 29.2.3(金) 参加者 18名

- ・事務局移転について
- ・平成28年度ブロック事業報告会について
- ・新技術講習会、新年懇親会、精算書の承認
- ・会員親睦会(ボーリング大会) 予算書の承認
- ・BIM CANP(木造編)講習会精算書の承認
- ・天竜高校交流会精算書の承認
- ・東海北陸ブロック会議予算書の承認
- ・今年度青年企画委員会卒業者の報告
- ・広報情報委員会、取材活動予算書の承認
- ・近畿建築祭、パネル展参加、精算書の承認
- ・まちづくり委員会、伊豆石の蔵パネル製作 予算書の承認
- ・まちづくり委員会「明治屋醤油見学会」 予算書の承認
- ・第3回中遠地区会、講習会、予算書の承認
- ・慶弔報告

2 会員厚生委員会 (10回)

委員会会議

(4/28、5/26、6/23、7/28、8/21、10/27、11/24、12/22、1/16、2/23)

3 事業研修委員会 (9回)

委員会会議

(4/26、5/24、6/28、7/26、8/26、9/27、10/25、1/24、2/16)

4 青年企画委員会 (8回)

委員会会議

(4/27、5/25、6/23、7/23、9/21、11/26、

1/25、3/25)

5 広報情報委員会 (5回)

委員会会議

(5/10、7/12、9/2、12/9、3/10)

6 まちづくり委員会(6回)

委員会会議

(4/20、6/15、8/24、10/29、12/21、2/14)

7 賛助会委員会(2回)

(5/18、1/12)

B 事業

a 東部ブロック

1 会員厚生委員会

ア. 東部ブロック会員交流バーベキュー大会 (第1回) (会員厚生・賀茂地区合同)

<事業目的・趣旨>

会員間の親睦を深め、新しい仲間を作る場としての親睦会

<開催時期・場所>

28.7.9 (土) 西伊豆

<参加人数>

50名

<事業内容>

会員とその家族等の参加でバーベキュー大会を行い、親睦を深める。

<事業効果>

会員の家族間でも横のつながりが出来最大の効果が得られた。

イ. 東部ブロック会員交流勉強会 (第2回)

<事業目的・趣旨>

建築士知識向上研修をしながら、会員間の親睦を深める。

<開催時期・場所>

28.12.2 (金) 三島市民文化会館

<参加人数>

28名

<事業内容>

- ・熊本地震の建物等の状況について
- ・省エネ適判

<事業効果>

現地調査を行った会員の状況報告及び賛助会員の現地の状況を説明してもらい、研修会を行うことにより、建築士としての知識向上

を図ることができた。

ウ. 東部ブロック会員交流大会

<事業目的・趣旨>

年に1度東部ブロック内、各地区役員、各会員、賛助会員が一同に会して事業報告と共に勉強会を行う。

<開催時期・場所>

29.3.3 (金) 三島市民文化会館

<参加人数>

41名

<事業内容>

各地区、委員会の事業報告
賛助会員のアピールタイム

<事業効果>

東部ブロックの常設委員会の活動や各地区の実施した事業等の報告を聞き、建築士会での活動を周知する事ができ、勉強会では賛助会員の研修会やアピール等で建設業界の状況を学習出来知識向上が図れた。

2 事業研修委員会

ア. 第1回講習会

<事業目的・趣旨>

建築士としての自己研鑽講習会

<開催時期・場所>

28.6.24 (金) プラサヴェルデ

<参加人数>

18名

<事業内容>

ホウ酸処理によるシロアリ対策

<事業効果>

シロアリ予防としては知名度の少ない分野ではあったが、質疑応答時には多くの参加者から活発な問い合わせが出るなど、新たな習得となる内容だった。

イ. 研修見学会

<事業目的・趣旨>

建築物、歴史的町並み等に関する見学会

<開催時期・場所>

28. 10. 30～31（日、月）川越・東京・横浜

<参加人数>

21名

<事業内容>

研修見学会

<事業効果>

旧岩崎邸庭園、靖国神社等の有名建築、川越の歴史的町並みを見学する事により、建築士としての研鑽を積むことができた。

ウ. 各地区長事業意見交換会

<事業目的・趣旨>

事業研修委員と各地区長との意見交換

<開催時期・場所>

28. 12. 8（木） 熱海市下多賀

<参加人数>

13名

<事業内容>

次年度事業について、地区長との意見交換

<事業効果>

次年度事業開催する時期及び方法について整合が図られた。

3 青年企画委員会

ア. 青年大会

<事業目的・趣旨>

他ブロックと合同で活動報告や意見交換を行うと共に、親交・交流を図る。

<開催時期・場所>

28. 6. 18～19（土、日） 磐田市

<参加人数>

5名

<事業内容>

他ブロックとの情報交換研修

<事業効果>

今回の青年大会の事業についてのワークショップと施設や工場見学が行われ、建築士としての資質向上が図られた。又、静岡県内他ブロック会員との親睦が深まった。

イ. 地域への建築士広報活動

<事業目的・趣旨>

一般の人々に建築士の職能を認知してもらい、建築士の必要性を啓蒙する。

<開催時期・場所>

(1) 28. 7. 30～31（土、日） 静岡伊勢丹

(2) 28. 11. 26（土） 三島商工会議所 TMO ホール

<参加人数>

(1) 10人

(2) 27人

<事業内容>

(1) 夏休みキッズワンダーランド参加(体験)

(2) リフォーム提案・片付&家事サポートトーク・建築相談

<事業効果>

一般の方々に建築士の職能を知ってもらう事で、建築士の必要性を感じてもらった。

ウ. 建築士会PR事業

<事業目的・趣旨>

一般市民に建築士の存在をアピールし、広く建築士の存在を認知してもらう。

<開催時期・場所>

29. 1. 7（土） 富士スピードウェイ

<参加人数>

16名

<事業内容>

ママチャリグランプリに参加し、建築士会の活動を掲示したり、建築士会の旗等でPRを行う。

<事業効果>

一般の人々に建築士の存在を認識してもらうと共に、静岡県外の建築士との交流が図れた。

エ. 東海北陸ブロック青年建築士協議会

<事業目的・趣旨>

他県の青年建築士の活動を知ったり、意見交換・研修を行うことによって、自県のこれからの活動の参考にしたり、知識向上を図る。

<開催時期・場所>

29. 2. 25～26 (土、日) 福井県

<参加人数>

7名

<事業内容>

東海北陸ブロック青年建築士協議会ブロック大会への参加

<事業効果>

他県の建築士との意見交換や研修により知識向上が図れ、又、他県の活動を知ることにより自県の活動の参考にすることができた。

オ. 製図課題見学研修会

<事業目的・趣旨>

一級建築士試験受験者との交流を図り、建築士会会員の増強を図る。

<開催時期・場所>

28. 8. 27(土)

<参加人数>

1名

<事業内容>

一級建築士試験受験者へ向けた製図課題見学研修会を行うことで、受験者との交流を図り、資格取得後の建築士会入会を促し、建築士会会員の増強を図る。

<事業効果>

一級建築士試験受験者に対して建築士会 PRを行うことができた。

4 広報情報委員会

ア. 建築物フォトコンテスト

<事業目的・趣旨>

建築士会の展示会等での展示及び建築静岡の表紙として採用し、委員のみでなく一般会員の写真も掲載する。自身の設計、施工した物件などの写真を応募することで、設計、施工スキルの向上を図る。

<開催時期・場所>

28. 8. 1 (月) ～29. 3. 25 (土) の間

<参加人数>

10名

タイトル 40

<事業内容>

士会に所属する会員が撮影した建築物・工作物の写真を募集し、審査の上表彰する。

<事業効果>

建築静岡表紙写真等は委員の所蔵写真などを掲載していたが、一般会員も自身の写真を表紙として採用されることで広報誌に関心がよせられた。

5 まちづくり委員会

ア. 地域貢献・まちづくり会議

<事業目的・趣旨>

地域貢献活動の発表報告を聞くことで各活動への理解を深め各自の活動へ活かす。他ブロックの委員との交流によりネットワークを広げる。

<開催時期・場所>

29. 3. 4 (土) 焼津公民館

<参加者人数>

5名

<事業内容>

まち歩き(花の里)講演会(地域貢献活動による建築士のまちづくりへの参加・寺院建築の見方調べ方・生かしてまもる歴史的建築歴史的町並み)参加

<事業効果>

今後の地域貢献まちづくり活動への理解を深める事ができた。

東部ブロック地区事業

(1) 賀茂地区

・東部ブロック会員交流バーベキュー大会

(会員厚生・賀茂地区合同)

(研修内容は会員厚生委員会に記載)

・三地区合同研修見学会(賀茂・伊東・熱海地区)

<事業目的・趣旨>

賀茂地区、伊東地区、熱海地区と合同研修会。建築士会員の研修等専門知識の向上目的とした研修見学会。

<開催時期・場所>

28. 11. 6～7 (日、月) 東京都

<参加人数>

17名

<事業内容>

国立西洋美術館・国立科学博物館・汐留パナソニックビニングショールム見学

<事業効果>

地区との合同研修見学会を開催する事により、今後の仕事に参考になり、お互いの業務に対する考え等の意見交換ができ参考になった。

・意見交換会新年会

<事業目的・趣旨>

会員相互の親睦を目的とし、情報などの交換も兼ねる。

<開催時期・場所>

29.1.28(土) 下田市内

<参加人数>

9名

<事業内容>

会員間の情報交換、親睦を深める。

<事業効果>

集まる機会が無い状況の中で、年に一度会員が集い活発な意見交換ができた。

(2) 伊東地区

・三地区合同研修会(伊東・熱海・三島地区)

(研修内容は三島地区に記載)

・三地区合同研修見学会(賀茂・伊東・熱海地区)

(研修内容は賀茂地区に記載)

・伊東建設関連業者連絡協議会

<事業目的・趣旨>

伊東建設関連業者連絡協議会に建築士会が参加する事によって、行政との意見交換や建設関連の他業界との意見交流を目的とする。

<開催時期・場所>

28.6.30(木) 伊東商工会議所

<参加人数>

3名

<事業内容>

都市計画審議会の参加、情報交流を目的とした懇親会

<事業効果>

伊東地区内の建設関係他団体の代表者、行

政担当者との現況、将来への展望等の建設関連業者相互の意見交換ができた。

・伊東市技能祭り 2016

<事業目的・趣旨>

建築技能について伊東市の要請で建築士会より講師を派遣し地域貢献する。

<開催時期・場所>

28.9.4(日) 伊東市役所

<参加人数>

3名

<事業内容>

伊東市職業訓練校主催技能祭への参加

<事業効果>

小学生～高齢者まで多くの来場者があった。各ブースに建設関連の他団体の体験コーナー等が設けられ、建築士会伊東地区会員の建築相談コーナーも設ける等、地域に建築専門家として建築士会の貢献をアピールできた。

・意見交換会

<事業目的・趣旨>

伊東地区会員の意見交換会を行うことにより会員相互の親睦を図る。

<開催時期・場所>

29.2.24(金) 伊東市

<参加人数>

10名

<事業内容>

会員の親睦・情報交換の為の意見交換会

<事業効果>

伊東地区事業等に対する意見、今後の要望、次年度の事業計画等様々な考えを協議できた。

(3) 熱海地区

・建築相談、応急危険度判定士訓練

<事業目的・趣旨>

熱海市から要請による「防災訓練」及び「建築相談」への対応

<開催時期・場所>

防災訓練 28.9.4(日) 熱海市役所
建築相談 毎月第3火曜日

<参加人数>

防災訓練 6名
建築相談 毎月1名

<事業内容>

- ・熱海市総合防災訓練の一環として行われる応急危険度判定訓練
- ・建築士として市民の建築相談

<事業効果>

建築相談を通じ市民の安心安全な住環境に寄与すると共に、行政(熱海市)との連携を保つことができた。また、建築士としての意識向上にもつながった。

・三地区合同研修会(伊東・熱海・三島地区)

(研修内容は三島地区に記載)

・三地区合同研修見学会(賀茂・伊東・熱海地区)

(研修内容は賀茂地区に記載)

・意見交換会

<事業目的・趣旨>

会員の意見交換、熱海地区の活動報告、今後の活動内容の議論。

<開催時期・場所>

29.2.22(水) 熱海市

<参加人数>

11名

<事業効果>

今後の建築士会の話し合い建築士としての情報交換を図れた。

(4) 三島地区

・三地区合同研修会(伊東・熱海・三島地区)

(士会、士事協、建設業合同研修)

<事業目的・趣旨>

三島建設業協会会員会社(建設施工会社)と意見交換し、お互いの工事に対する問題点等を話し合う機会をつくる。

<開催時期・場所>

28.10.28(金) 松崎町

<参加人数>

伊東地区 2名
熱海地区 2名
三島地区 4名

<事業内容>

依田邸(旧大沢温泉ホテル)他見学

<事業効果>

施工会社、他地域の設計事務所との合同見学会を開催する事により、お互いの業務に対する考え等が聞けて参考になった。

歴史的建物を含めた町づくりの取り組みを見学する事により今後の業務の参考になった。

・第1回意見交換会

<事業目的・趣旨>

地区会員及び賛助会員意見交換会

<開催時期・場所>

28.7.22(金) 伊豆市内

<参加人数>

24名

<事業内容>

東部ブロック及び三島地区事業計画の報告、会員相互の情報交換賛助会員による最新情報の提供等について意見交換を行う。

<事業効果>

ブロック事業・地区事業の報告及び連絡事項の確認。会員の近況報告、情報交換、事業への積極的な参加呼びかけ等親睦会を通じ有意義な意見交換ができた。

・建築展

<事業目的・趣旨>

建築相談、耐震補強相談等を行うことにより建築士会をアピールする。

<開催時期・場所>

28.11.13(日) 三島市民体育館

<参加人数>

15名

<事業内容>

建築相談、耐震補強相談、子供対象ペーパークラフト鉋掛体験

<事業効果>

住人に対しての建築士会の広報だけでなく行政に対しても、参加する事によってアピールする事ができた。

・第2回意見交換会及び新年会

<事業目的・趣旨>

地区会員及び賛助会員意見交換会

<開催時期・場所>

29.1.27(金) 伊豆市

<参加人数>

28名

<事業内容>

近況報告、最近の問題についての親睦事業

<事業効果>

会員情報交換及び会員相互の親睦を図ることによって、活動の活性化又は信頼を深める事ができた。

・研修見学会(沼津・三島合同)

<事業目的・趣旨>

地区会員の研修

<開催時期・場所>

28.9.24(土) 山梨県

<参加人数>

25名

<事業内容>

平山郁男シルクロード美術館・甲州夢小路

<事業効果>

平山郁男シルクロード美術館見学及び甲州夢小路の見学をすることにより知識を深める事ができた。

(5) 沼津地区

・沼津市市民建築相談

<事業目的・趣旨>

沼津市民の建築に関する相談

<開催時期・場所>

毎月第二火曜日 沼津市市役所

<参加人数>

毎月1名

<事業内容>

沼津市民の建築に関する相談を受け、建築士としての立場でアドバイスを行う。

<事業効果>

住民の安心・安全に寄与すると共に、沼津市の広報誌に掲載されるなど、建築士及び建築士会活動を啓発できた。

・春の会(地区事業報告会)

<事業目的・趣旨>

地区事業の1年間の運営結果及び次年度の運営方針を報告

<開催時期・場所>

28.5.20(金) 沼津市

<参加人数>

18名

<事業内容>

1年間の事業及び決算報告・次年度の事業計画及び予算の報告・意見交換

<事業効果>

地区の昨年度の事業及び今年度の事業計画を報告すると共に、本会、東部ブロックの事業予定を報告し、会員増強への協力も依頼。会員相互の情報交換の機会を得ることができ、建築士会事業の理解が深まった。

・研修見学会(沼津・三島合同)

(研修内容は三島地区に記載)

・賀詞交歓意見交換会ボウリング大会

<事業目的・趣旨>

地区会員親睦・意見交換

<開催時期・場所>

29.1.27(金) 沼津市

<参加人数>

ボウリング大会 20名

意見交換会 26名

<事業内容>

会員の親睦を図り、各自の近況及び本会の動向を説明

<事業効果>

本会、東部ブロックの活動状況を報告し、会員増強への協力も依頼。会員相互の親睦や情報交換の機会得る事が出来、建築士会事業への理解を深められた。

(6) 裾野地区

・会員交流納涼会

<事業目的・趣旨>

情報交換、会員相互の親睦

<開催時期・場所>

28.8.26 (金) 裾野市

<参加人数>

7名

<事業内容>

会員同士の親睦事業

<事業効果>

会員相互の親睦、情報交換により地区活動の理解が深まった。

・研修見学会

<事業目的・趣旨>

建築物や新しい技術などの視察研修を行い建築士として資質向上と学識を高める。

<開催時期・場所>

28.11.16 (水) 横浜市

<参加人数>

9名

<事業内容>

三溪園・麒麟横浜ビアビレッジ工場見学

<事業効果>

古い建物、日本庭園などの視察研修ができた。

(7) 御殿場地区

・三会合同研修会

<事業目的・趣旨>

市役所及び関連団体との調整協議等の研修

<開催時期・場所>

28.7.12 (火) 御殿場市民会館

<参加人数>

60名

<事業内容>

法令解説、申請手続き等の研修会事業

<事業効果>

御殿場市・小山町・広域行政組合消防本部の担当者により各種申請手続きが説明され、書類作成業務の効率化等会員の資質向上を図ることができた。

・三会合同親睦会

<事業目的・趣旨>

関係三団体の合同親睦会

<開催時期・場所>

28.10.22 (土)

<参加人数>

4名

<事業内容>

三会合同研修会実施に伴う行政書士会、建築士事務所協会との親睦

<事業効果>

参加者のほとんどが普段体を動かす機会がなく無理する事のない手軽なスポーツで好評であった。また、三会合同の企画は他に研修会だけでその後親睦会では話題が多岐にわたり有意義な話し合いができた。

・来期打ち合わせ地区新年会

<事業目的・趣旨>

首長を交えた会員の情報交換会

<開催時期・場所>

29.1.20 (金) 御殿場市

<参加人数>

14名

<事業内容>

御殿場市長及び小山町長に出席していただき地区会員と共に今年度の反省点や新年度への展望や要望、地域発展の為に地区会としてできる事、やるべきこと等出席者の忌憚のない意見交換を行う。

<事業効果>

本年度の反省、来期の目標等御殿場市、小山町の首長から直接話を聞くことが出来、士会としての要望、希望等を織り交ぜながらの会話をしながら懇親を深める事ができた。

(8) 富士地区

・富士市キッズジョブ事業

<事業目的・趣旨>

主に小学生を対象にペーパークラフトを使い立体的な家を作ってもらうことによりものづくりの楽しさ、建築というものに対して興味を持ってもらう。また親御さんに対しては「建築士の仕事」のPRを行うことで建築士という職業を理解してもらう。

<開催時期・場所>

28.8.20～21（土、日） ふじさんめッセ

<参加人数>

会員 10名 一般 150名

<事業内容>

「夢のおうちをつくろう」のテーマのもと、ペーパークラフトで家を作ってもらう。同時に「建築士の仕事」のPRパネルの展示、会員の作品展示等も行う。

<事業効果>

「キッズジョブ 2016」富士市主催のイベントの「お仕事体験エリア」に出展しペーパークラフトで立体的な家づくりを体験することで建築士の仕事を子供たちとその親御さんに理解してもらう機会になった。

・キャッチTHE鯿

<事業目的・趣旨>

地区を超え、会員の家族を含めた幅広い親睦を図る。

<開催時期・場所>

28.6.19（日） 富士宮市

<参加人数>

45名

<事業内容>

鯿のつかみ取り・バーベキュー会員の子供対象リクリエーション

<事業効果>

会員間の親睦が深まると共に、建築士会の活動を支えてくれる家族に対してのPRも兼ねており、建築士会の活動に対する理解を深めてもらうことができた。

・会員意見交換会

<事業目的・趣旨>

建築士会の組織全般に関する意見交換を行い、組織の今後の運営、活動等に活かしていくことにより、より良い建築士会を作る上げる。

<開催時期・場所>

29.1.20（金） 富士市

<参加人数>

25名

<事業内容>

会員の増強、会員意識啓発、会員資質の向上、会員親睦、福利厚生に関する事項等々、幅広いテーマにそって意見を出し合い議論する。

<事業効果>

各委員会の動向がわかり会員意識の向上につながった。また、事業の経過と予定が確認でき事業参加者増強につなげることができた。

・法令講習会

<事業目的・趣旨>

建築関連法令の改正点や行政サイド等からの要望事項等に関する講習会を開催することで、業務に関する有用情報の伝達機会を設け、会員資質の向上を目指す。

<開催時期・場所>

28. 8. 23 (火) 富士市商工会議所

<参加人数>

41名

<事業内容>

建築関連法令の改正点等について、行政関係者等を講師として招く会員対象の講演会

<事業効果>

富士宮市行政担当・静岡県営繕工事課 富士宮農林事務所より講師として招き丁寧な説明を受け会員の今後の業務に生かせる講習となった。

・まちづくり研修見学会

<事業目的・趣旨>

個々の建築を包括する総合的な「まちづくり」に関する幅広い分野の知識を深めることによる会員の資質の向上、並びに「まちづくり」への参画可能な人材育成を目指す。

<開催時期・開催場所>

29. 2. 25 (土) 修善寺 松崎町

<参加人数>

20名

<事業内容>

ジオリア見学 室岩洞 長八美術館 岩科学校見学

<事業効果>

地球の生い立ちから伊豆半島の成り立ちを学習しガイドの説明により建築業務に役立つ事ができた。

b 中部ブロック

1 会員厚生委員会

ア. 全国大会大分大会

<事業目的・趣旨>

大分大会へ参加し、大会事業に協力すると共に、大分県建築士会との交流を図る。

<開催時期・場所>

28. 10. 22 (土) ~23 (日) 別府市

<参加人数>

8名

<事業内容>

1泊2日の行程により、大分大会参加、並びに大分県の文化・歴史・建築に接する。

<事業効果>

大分県建築士会会員並びに地元の人々との交流並びに相互理解を深められた。

イ. サッカー大会

雨天のため中止となりました。

ウ. ブロック報告会

<事業目的・趣旨>

本年度事業活動内容を、中部ブロック正会員並びに賛助会員に報告

<開催時期・場所>

29. 3. 3 (金) 静岡県産業経済会館

<参加人数>

報告会 46名・懇親会 43名

<事業内容>

本年度事業活動内容の報告、来年度事業予定内容、及び委員会・地区会報告。

<事業効果>

中部ブロックの活動内容を理解、並びに会員相互の親睦を深める事ができた。

2 事業研修委員会

ア. 2級建築士製図講習会

<事業目的・趣旨>

建築士会のPRと会員募集案内

<開催時期・場所>

28. 7. 31 (日)、8. 7 (日)、8. 21 (日)、8. 28 (日)、9. 4 (日)

建築士会中部ブロック事務局

<参加人数>

8名 (内合格者3名)

<事業内容>

2級建築士製図試験受験者に製図試験の図面作成の方法を指導すると共に、2級建築士の育成を行う。

<事業効果>

受験生と講師という堅い信頼関係を構築することができるため、建築士会のPRをすることにより会員拡大に期待ができる。

イ. 見学研修会

<事業目的・趣旨>

近年各地で盛んに取り入れられている建築の魅力を経史的見地から発掘し、土地の文化

と合わせて提案する街おこし活動の効果について、新たな魅力ある街づくり手法として感じ学ぶことを目的とした。

<開催時期・場所>

28.11.11(金)～12(土)
神奈川県小田原市～鎌倉方面

<参加人数>

16名

<事業内容>

昨年大改修を終えた歴史的建造物小田原城と、賛助会員ケイミュ(株)様小田原工場の見学を行い、建築士の資質向上を行った。

<事業効果>

この手法を学ぶことにより、建築士としての見識を広げ、提案力の深さを養うことにつながった。

エ. 建築相談

<事業目的・趣旨>

建築市民相談

<開催時期・場所>

- ・清水区役所(毎月第2火曜日)
- ・静岡区役所(毎月第1・第3火曜日)
- ・あんしん住まい相談
清水社会福祉会館(毎月第2第4木曜日)
静岡城東保健福祉エリア リハ・パーク
- ・あんしん建物相談室 ミーナ葵
葵タワー7階(毎月第2第4水曜日)

<相談員数>

各回1名

<事業内容>

市民を対象とした無料の建築相談会

<事業効果>

市民の安心・安全な住環境に資することができた。

3 青年企画委員会

ア. 青年大会 青年大会参加(継続事業)

<事業目的・趣旨>

各ブロック間の青年同士の交流、懇親を主目的とし、青年の活動について、ワークショップを開いたり、その土地の建物見学、勉強会などを行う。

<開催時期・場所>

28.6.18(土)～19(日) 磐田市豊岡、浜名湖周辺(西部ブロック主催)

<参加人数>

5名

<事業内容>

若手建築士が建築士会へ興味を持ってくれるための魅力を掘り下げるべくワークショップを行う。また、プレカット工場の視察やOMソーラーハウスの見学地盤の講義など色々な刺激を受けることができた。

<事業効果>

静岡県の各ブロックの青年委員と情報交換と各ブロックの現在の状況・情報を共有できた。

ウ. 東海北陸ブロックつるが大会

<事業目的・趣旨>

東海北陸ブロックで毎年開催される青年大会への参加、今年度は福井県が幹事県

<開催時期・場所>

29.2.25(土)、26(日) 福井県敦賀市
1日目 きらめきみなと館
2日目 敦賀市福祉総合センター

<参加人数>

9名

<事業内容>

全体会議・ワークショップ・懇親会・町歩き・つるが原発見学

<事業効果>

他県の青年活動内容をより深く知ることができ、活動している当人と直接情報交換ができた。又、各県への繋がりを作ることができた。

エ. 他ブロック青年企画委員会事業体験

<事業目的・趣旨>

西部ブロック青年企画委員会の建築士会のPRの手法等を見て感じ、その後の中部ブロックでの委員会活動に生かし、ブロックの建築士の資質向上・会員拡大に繋がる事業計画の内容充実を目的とする。

<開催時期・場所>

28.8.27(土) 子育てセンターかきのみ施設見学

<参加人数>

3名

<事業内容>

一級建築士製図試験課題建物見学研修会の運営・参加

<事業効果>

受験者は比較的若い世代が多いため年齢の近い青年委員会が行うことにより建築士会を身近に感じてもらえ、建築士会のPRに繋がった。

オ. 青年企画勉強会

<事業目的・趣旨>

中部ブロック各地区の青年企画委員が勉強会を企画し、会員の資質の向上を図り、会員外への建築士会のPRをする。

<開催時期・場所>

- 第1回 28.10.7(土) 産学交流センター
第2回 29.1.21(土) 山梨方面
富士ハーネス、アリアディフィレンテ

<参加人数>

- 第1回 20名
第2回 14名

<事業内容>

必要性のあるものや、興味深いテーマについての勉強会を運営する。

<事業効果>

各地区の青年企画委員との交流、また建築士会非会員への建築士会のPRができた。
新たなメンバーとも交流、懇親ができた。

4 広報情報委員会

<事業目的・趣旨>

建築士会のホームページを活用し、中部ブロックの活動を積極的に社会へ公開していく。

<事業内容>

ブロック協議会で承認された事業(活動)を必要に応じ建築士会ホームページの中部ブロックに掲載する。

<事業効果>

公益社団法人としての必要な情報を積極的に社会へ公開していくことで、建築士会への理解を深め興味を持ってもらうことが期待される。

5 まちづくり委員会

ア. 研修見学会

<事業目的・趣旨>

古い町並みを見学することにより今後のまちづくり活動に活かしていく。

<開催時期・場所>

- 29.2.5(日) 調布市:上代植物公園、深大寺、

小金井市:江戸東京たてももの園

<参加人数>

40名

<事業内容>

TOKYO 今昔ツアー

一般市民を募り、バスにて町並みの見学会開催。深大寺ではお寺を中心に全国的にも有名な「深大寺そば」を展開している周辺のまちづくりについて見学をしました。

江戸東京たてももの園ではボランティアガイドによる説明を聞き、古い建物についての見学をした。

<事業効果>

一般市民を対象としたことで建築やまちづくりに対して興味を持って頂けた。

募集をするにあたり、各方面にチラシを配布することにより、参加者以外にも建築士会の存在を知ってもらえた。

毎年参加していただける一般の方も何名かはいたので、今後も継続していくことが大事である。

イ. 市民講座

<事業目的・趣旨>

次世代に継承したい歴史や文化を考える。

<事業内容>

静岡たてももの探検

場所 静岡市駿河区高松旧マッケンジー住宅

日時 29.2.18(土)

参加人数 40人

テーマ「旧マッケンジー住宅を探検しよう」

- ・協力 静岡市役所文化財課 前田氏
静岡市文化振興財団 伏見氏・望月氏
静岡建築遺産学会 亀山氏
静岡科学技術高校 生徒6名

<事業内容>

旧マッケンジー住宅を題材に、小学生の子供とその親を対象にし、高校生にサポートをいただき、親子で住宅を探検し、クイズ形式のスタンプラリーをしました。

その後みんなで昔の生活、古い建物の良さについての話し合いをしたり、協力者の方に文化財等の説明を受けました。

委員会からは建築士及び建築士会についての説明をしました。

<事業の効果>

当日アンケート調査を実施したところ、

非常に良かったという意見をいただいた。

子供たちの意見を聞くと次世代を担う子供・高校生に、建築についての興味を持ってもらうには大変効果があった。次年度以降も実施していきたいと思います。

ウ. 地域貢献活動発表会支援

<事業目的・趣旨>

地域貢献活動に参加し、各地のまちづくりを学ぶ。

<開催時期・場所>

29.3.4(土) 焼津公民館

<参加者人数>

80名

<事業内容>

まち歩きをしてその後、講演を聴き意見交換。交流会への参加

<事業効果>

各地のまちづくりを学び、他のブロックの方と交流し、次年度の活動に繋げる。

中部ブロック地区事業

(1) 清水地区

・研修会

<開催時期・場所>

28.4.19(火) 御殿場・長泉町

<参加人数>

参加者10名

<事業内容>

昨年講習会を行ったペレットストーブの燃料ペレットの工場と使用されている施設見学、小規模水力発電所の見学

<事業効果>

新しい器具や省エネに対応する取り組みを学び仕事に活かすことができた。

・清水みなと祭り

<事業目的・趣旨>

清水地区会員相互の親睦・市民との交流

<開催時期・場所>

28.8.6(土) 静岡市清水区

<参加人数>

15名

<事業内容>

清水市伝統の港かっぱれ総踊りに参加

<事業効果>

清水地区会員の結束の強化と建築士会のPRを行った。

・第25回職人まつり

<事業目的・趣旨>

他団体・市民との交流

<開催時期・場所>

28.9.25(日) 静岡市清水区

<参加人数>

5名 静岡市役所建築指導課3名

<事業内容>

建築指導課と組んで“わが家の耐震診断”の啓蒙

<事業効果>

“わが家の耐震診断”の市民へのPR・1件の相談があった。

・福祉のまつり

<事業目的・趣旨>

他団体・市民との交流

<開催時期・場所>

28.9.25(日) 静岡市清水区

<参加人数>

5名

<事業効果>

“わが家の耐震診断”の市民へのPR・1件の相談があった。

・まち育て講座

<事業目的・趣旨>

地域住民との交流、地域防災の学習

<開催時期・場所> 静岡市清水区

28.10.1(土)

<参加人数>

5名 静岡市役所職員

<事業内容>

清水飯田小学校にて宿泊訓練をしながら、地域防災について子供達と共に学んだ。

<事業効果>

地域との交流・建築士会をPRすることができた。

・地域づくり発表会

<開催時期・場所>

29.3.4 (土) グランシップ

<参加人数>

総計3名

<事業内容>

静岡県&協働主催地域づくり発表会
耐震及び防犯をテーマにブース出展

<事業効果>

建築士会PRができました。

・地域報告会 (2回)

<開催時期・場所>

28.7.24(日)~29.1.27 (金)

<参加人数>

総計36名

<事業内容>

清水地区会員相互の親睦

<事業効果>

活動の計画及び報告 懇親会

・耐震無料相談会 (4回)

<事業目的・趣旨>

清水地区の耐震補強物件の掘り起し

<開催時期・場所>

8/28・10/30・12/4 (各日)、12/22 (木)

各交流館・イベント会場

<参加人数>

各3名~5名

<事業内容>

市役所より対個別に連絡して対象者に対して相談会を実施

<事業効果>

無料診断の件数が昨年度に比べて伸びている。

(2) 静岡地区

・会員増強事業 (新入会員オリエンテーション)

<事業目的・趣旨>

新入会員への組織体系の説明。

<開催時期・場所>

28.7.29(金) 静岡市産学交流センター

<参加者>

15名 (対象者5名含む)

<事業内容>

新入会員へ組織体系の説明をし、会員活動への参加呼びかけ、質疑応答など。

<事業効果>

建築士会員となっても会員活動の取り組みが不明などの声も聞くが、会って説明する機会を作ったことで相互理解も深まり、今後の活動参加を促すことができた。

実際に参加した新入会員の中には委員会活動に参加してくれた方もいた。

・技術研修事業 (建築視察)

<事業目的・趣旨>

会員の自己研鑽を図る。

<開催時期・場所>

28.10.2 (日) 東京都台東区

<事業内容>

2016.7 に世界文化遺産登録となった国立西洋美術館及び上野公園周辺施設の視察

<事業効果>

美術館をはじめ、上野公園には著名な建築物が多く存在する。ボランティアガイドによる説明を受け、改めて建築士として携わる役割を考える機会となった。建築士同士で建築物を観て廻り意見を交わすことで自己研鑽が図れた。

・技術研修事業 (地区勉強会)

<事業目的・趣旨>

会員の自己研鑽を図る。

<開催時期・場所>

29. 1. 27 (金) 静岡市産学交流センター

<参加人数>

31名

<事業内容>

静岡市都市局建築部建築指導課職員を講師に迎え、熊本地震発災直後の行政としての対応についての報告。

<事業効果>

発災直後の行政の対応などは分からないことも多く、建築士自身が応急危険度判定士として活動する場合など、建築士としての防災の役割を考える機会となった。

・会員交流事業

<事業目的・趣旨>

会員同士の交流を深める。

<開催時期・場所>

29. 1. 27 (金) 静岡市葵区鷹匠

<参加者>

27名

<事業内容>

静岡地区会員同士で集まり、話をする機会を設けた。

<事業効果>

委員会活動などで日頃会う機会が少なくなってしまった地区会員同士が集う機会を設けたことで、情報交換などの場となった。

(3) 志太地区

・親睦事業 (ママチャリグランプリに参加)

<事業目的・趣旨>

自転車レースに参加することにより地区会員間の交流・親睦を深める・建築士会のPRができる。

<開催時期・場所>

29. 1. 6~7 (金、土) 富士スピードウェイ

<参加人数>

16名

<事業内容>

富士スピードウェイにて開催のママチャリ自転車レースに参加。

静岡県建築士会ののぼり旗・ブルゾンによるPR活動。

<事業効果>

会員間の親睦が得られ、建築士会のPRもできた。

・技術研修事業「建築三団体焼津エリア情報交換会」

<事業目的・趣旨>

建築業務に関する情報収集。

<開催時期・場所>

29. 2. 3 (金) 焼津公民館

<参加人数>

28名

<事業内容>

静岡県建築士会・志太建築士会・建築士事務所協会及び焼津市役所による焼津エリア情報交換会。

<事業効果>

建築三団体間の情報交換、及び焼津市役所からの建築行政の情報が得られた。

・視察研修事業 (志太・榛原地区合同)

<事業目的・趣旨>

今回初めて志太・榛原地区と合同企画として、美術品及び建物視察見学による研修、及び会員家族を含めた地区を超えた会員間の交流を深める事業を行う。

<開催時期・場所>

29. 3. 25 (土) 平山郁夫シルクロード美術館・八ヶ岳チーズケーキ工房・シャトレゼベルフォートワイナリー視察見学会

<参加人数>

22名

<事業内容>

建築技術の研鑽と会員相互の親睦

<事業効果>

会員家族を含めた交流をすることで会員相

互の結びつきを強くし、退会の抑制及び事業への積極的な参加に繋がった。

・地区会

<事業目的・趣旨>

地区の活性化推進

<開催時期・参加人数・場所>

第1回	28. 4. 19 (火)	9名
第2回	28. 5. 31 (火)	9名
第3回	28. 7. 26 (火)	5名
第4回	29. 9. 28 (水)	8名
第5回	28. 11. 16 (水)	5名
第6回	29. 2. 7 (火)	7名
各回	サンライフ藤枝	

<事業内容>

地区事業の調整

<事業効果>

地区活動に対する意見交換ができ、地区の活性化に繋がった。

(4) 榛原地区

・地区勉強会・講習会

<事業目的・趣旨>

地区会員の資質向上のための講習会

<開催時期・場所>

第1回	28. 8. 26 (金)	吉田町	片岡会館
第2回	29. 1. 27 (金)	静波防災センター	

<参加人数>

第1回	16名
第2回	20名

<事業内容>

第1回	建築業界事情及び状況について 熊本地震現地調査業務報告
第2回	建築物省エネ法について 実務に即した法令の取り扱いについて

<事業効果>

第1回	業務に必要な最新の知識の習得(法令等) 現地で撮影した写真、文献等により被害にあった建物を解説
-----	---

して被害の原因等を理解していただいた。

第2回 省エネ法施行に際する業務上の注意点及び実務に際しての法令の解釈について詳細な説明を聴くことで、実務に直結することになった。

・地区交流会

<事業目的・趣旨>

会員相互の情報交換と親睦を通じ、士会活動の活性化を図る。

<開催時期・参加人数・場所>

第1回	28. 8. 26 (金)	16人
第2回	28. 12. 1 (木)	12人
第3回	29. 1. 27 (金)	21人
各回	牧之原市静波 片岡会館	

<事業内容>

地区内での交流会

<事業効果>

会員相互の情報交換と親睦を通じ士会活動を活性化する。建築士同士だけでなく、賛助会員からの意見、情報交換ができた。

・地区会

<事業目的・趣旨>

地区の活性化促進

<開催時期・場所>

第1回	28. 5. 12 (木)	16名
第2回	28. 7. 13 (水)	8名
第3回	28. 12. 1 (木)	13名
第4回	29. 2. 15 (水)	12名
各回	静波防災センター	

<事業内容>

建築士会活動・ブロック活動の内容を地区会員に伝え情報の共有を図る。課題等の意見交換

<事業効果>

地区会を開くことにより地区会員からの意見をブロックに伝える事ができた。

・視察研修事業(志太・榛原地区)

(研修内容は志太地区に記載)

c 西部ブロック

1 会員厚生委員会

ア. オリエンテーション

<事業目的・趣旨>

建築士会の組織の説明と会員活動の推進

<開催時期・場所>

28.4.1(金)～29.2.3(金)

西部ブロック事務局

<参加人数>

正会員5名 賛助会員 1社

<事業内容>

新人会員への活動目的や組織体制等の説明を行うと共に、各委員会活動の紹介を行い、入会後の円滑な委員会活動への参加を促す。

<事業の効果>

円滑な委員会活動への参加が図られた。

イ. 会員親睦会 家族ふれあいたい会

<事業目的・趣旨>

会員・家族の交流促進

<開催時期・場所>

28.8.21(日) 渚園キャンプ場

<参加人数>

77名

<事業内容>

会員とその家族等の参加でバーベキュー、ゲームなどを行い、それぞれの親睦を深める。

<事業の効果>

会員と家族との交流や委員会の垣根を越えた会員相互の交流を通じて、ブロック全体の親睦が図られた。

ウ. 新年懇親会

<事業目的・趣旨>

会員の親睦事業

<開催時期・場所>

29.1.18(水) ホテルクラウンパレス浜松

<参加人数>

71名

<事業内容>

新年を迎え会員間の情報交換を行うと共に会員相互の親睦を深める。

<事業の効果>

各種団体の代表の方や会員相互の交流が図られた。

エ. 会員交流会 ボーリング大会

<事業目的・趣旨>

委員会間の交流促進

<開催時期・場所>

29.3.4(土) 袋井グランドボウル

<参加人数>

41名

<事業内容>

ボウリングで会員相互の親睦を深める。

<事業の効果>

軽スポーツを通じ会員相互・関係団体との交流が図られた。

2. 事業研修委員会

ア. 技術見学会

<事業目的・趣旨>

新施設・新旧技術・歴史的建造物を、バスでの日帰り見学ツアーの企画・運営

<開催時期・場所>

28.7.29(金) TOTOテクニカルセンター名古屋、名古屋城、リタケの森、トヨタ産業技術記念館

<参加人数>

33名

<事業内容>

「TOTOテクニカルセンター名古屋」:バリアフリーラボの体感、最先端技術と「名古屋城」「リタケの森」「トヨタ産業技術記念館」歴史的建造物の見学を企画

<事業の効果>

建築士として必要な新旧技術・新知識を学ぶことができた。

イ. 各種講習会

<事業目的・趣旨>

建築士を対象とした講習会の企画・運営

<開催時期・場所>

29.1.27(金) アクティ浜松コンgresセンター

<参加人数>

17名

<事業内容>

「BIM CAMP(木造編)・ハズオントレーニング」講習会

<事業の効果>

建築士として新設計手法のBIM(ビルディングインフォメーションモデリング)設計の知識向上が図られた。

ウ. 建築探訪

<事業目的・趣旨>

新旧の建築・施設の見学と、その土地の文化に接する、一泊二日の研修旅行の企画・運営
＜開催時期・場所＞

28.11.18(金)～19(土)

＜1日目＞

海ほたる、村美術館、国立西洋美術館

＜2日目＞

東京駅、東急プラザ銀座、築地場外市場、建築倉庫ミュージアム

＜参加人数＞

22名

＜事業内容＞

「海ほたる」にて昼食及び施設内見学、「村美術館」「国立西洋美術館」にて施設建物と展示物観賞。「東京駅」「東急プラザ銀座」の近年建築・改修の建物も触れ「建築倉庫ミュージアム」で日本人建築家や設計事務所による、大変貴重な建築作品の模型を鑑賞

＜事業の効果＞

東京を中心に世界遺産から近代建築まで幅広く見学し、建築士としての知識の向上に努めた。また会員同士の親睦を深めることができた。

エ. 女性部準備

＜事業目的・趣旨＞

女性建築士の交流と知識の向上を目的とする。

＜開催時期・場所＞

29.2.16(木) クリエイト浜松

＜参加人数＞

16名

＜事業内容＞

女性建築士として、女性会員としての、仕事・家庭・生活等の悩みやアドバイスや経験談などの意見交換会を企画

＜事業の効果＞

女性からの目線や悩み等意見交換ができ、女性同士の親睦も深めることができた。

3 青年企画委員会

ア. 浜松工業高校交流会

＜事業目的・趣旨＞

建築科生徒に、若手建築士との交流を通じて、建築の仕事に関心を深めてもらう。

建築士の仕事の多様性を示し、さまざまな将来が開けていることを知ってもらう。

＜開催時期・場所＞

28.11.11(金) 静岡県立浜松工業高校
会議室 対象：同校建築科2年生

＜参加者人数＞

青年企画委員会参加者：11名

＜事業内容＞

- ・建築士の仕事や建築に関することについて、発表者3名に合計約1時間発表してもらう。
- ・発表後、生徒と委員会員でグループに分かれて、グループワークを行い交流を深める。
- ・質疑応答を行い、グループワークで出た話の紹介や質問に委員会員が答える。

＜事業の効果＞

建築士を目指す若者の育成のため、建築士及び建築士会のPRを行った。この中から資格取得者が生まれ、新規会員となることを期待したい。

イ. 天竜高校交流会

＜事業目的・趣旨＞

職業講和として交流会を行う。建築業界の社会事情や仕事の魅力を聞いてもらい、建設業について興味・関心を持ってもらう。そして、社会人としての責任や生活についての体験談を聞き、今後の進路選択の一助としてもらう。

＜開催時期・場所＞

29.1.17(火) 静岡県立天竜高等学校 教室 対象：同校1年次生 建築系列

＜参加人数＞

青年企画委員会参加者：8名

＜事業内容＞

- ・仕事に対する心構えややりがい、楽しみ、体験談などについて参加者全員が発表
- ・発表後、生徒と委員会員でグループに分かれて、グループワークを行い交流を深める。
- ・質疑応答を行い、グループワークで出た話の紹介や質問に委員会員が答える。

＜事業の効果＞

建築士を目指す若者の育成のため、建築士及び建築士会のPRを行った。この中から資格取得者が生まれ、新規会員となることを期待したい。

ウ. 全国建築士フォーラム

＜事業目的・趣旨＞

全国大会前日に開催される全国建築士フォーラムへの参加を目的とする。

全国の建築士会青年委員の活動報告を通し、自県の今後の活動の参考とする。

<開催時期・場所>

28.10.21（金） 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ 国際会議室他

<参加人数>

青年企画委員会参加者 0 名

<事業内容>

- 1) 会場内で発表事例のパネル展示
- 2) 各ブロック代表による全体発表
- 3) テーブルワークショップ (3 回)
- 4) 投票及び表彰 (アワード)

<事業の効果>

他県の活動の報告を受け、今後の青年企画委員会の活動の参考とすることができた。

また、他県の青年企画委員との貴重な交流の場となった。交流を通じて建築士としての資質の向上につながった。

エ. 青年大会

<事業目的・趣旨>

静岡県の青年建築士会会員が一堂に会し、ブロック毎の事業や取組についての報告、新規会員の取り込みのための方法等について話し合いをし、県内の青年会員の交流を図ると共に、見学研修を通して青年建築士の資質向上を図る。

<開催時期・場所>

28.6.18~19（土日）磐田市、浜名湖周辺

<参加人数>

青年企画委員会参加者 12 名

<事業内容>

- 1日目 青年会議、親睦会
- 2日目 OMソーラー視察

<事業の効果>

ブロックの事業報告から課題を見つけ、情報を共有することでブロックの垣根を越えた活動へ繋げることができた。見学研修を通じて建築士としての資質の向上につながった。

オ. 一級建築士製図課題建物見学研修会

<事業目的・趣旨>

昨今の会員減少問題に対して、これから資格をとる方への建築士会のアピールを目的とした研修会。一級建築士の製図課題に沿う建

物を見学することで、各自の試験合格への一助とし、その後の入会へつなげていく。

<開催時期・場所>

28.8.27（土）

子育てセンターかきのみ（浜松市）

<参加人数>

参加者：14 名（受験者又は受験見込み者）
青年企画委員会参加者：5 名

<事業内容>

平成28年度一級建築士試験
「設計製図の試験」課題
『子ども・子育て支援センター』
(保育所、児童館、子育て支援施設)

施設の管理者へ依頼し、建物の見学研修会を行った。道中をバス移動とし、試験への心構え・体験談を委員から参加者へお話した。

建築士会の組織・活動についての説明を行い、募集案内を行った。

<事業の効果>

受験者への合格の一助となる研修会ができた。受験者との交流、入会への案内をし、建築士会のアピールの場となった。

カ. 東海北陸ブロック会議

<事業目的・趣旨>

この大会は、東海北陸 7 県の青年建築士・女性建築士が一堂に会し、各県で行われている地域実践活動の発表・報告及び、地域を知って頂く目的の活動を行うことで、建築士の資質の向上を図るものである。本大会は各県持ち回りで行われており、今年度は福井県が担当県となり、敦賀市にて開催された。

<開催時期・場所>

29.2.25（土）～2.26（日）

メイン会場 きらめきみなと館

<参加人数>

青年企画委員会参加者：6 名

<事業内容>

テーマ：「TURUGA de TUNAGU」
～時を越えてあしたへ～

1 日目 開会式

分科会

- ・発電所見学
- ・講演会
- ・街歩き

報告会

- ・各県活動報告
- ・連合会青年委員会報告
- ・近畿ブロック青年部活動報告

懇親会

2 日目 青年建築士協議会

- ・講演会
- ・トークディスカッション

閉会式

<事業の効果>

建築士を取り巻く最近の状況など、有意義な意見交換が図られるとともに、資質の向上につながった。

4 広報情報委員会

ア. 西部ブロック活動報告まとめ

<事業目的・趣旨>

ブロック事業・地区事業・委員会事業の記録及び次年度の活動・PRへ活かしていく。

<開催時期・場所>

28. 5. 10 (火) 西部ブロック事務局

<参加人数>

5名

<事業内容>

昨年度の事業内容をまとめ編集・校正作業を行った。印刷後はブロック報告会にて配布、会員へ発送。また各事業・西部ブロックのPRに活用した。

<事業効果>

活動状況が写真入りで解り易くなり記録の保存にも役立った。またブロック各事業にて資料として活用した。

イ. 建築士会 HP、ブログ更新研修会

<事業の目的・趣旨>

建築士 HP ブログ有効活用の推進

<開催時期・場所>

28. 9. 2 (金) 西部ブロック事務局

<参加人数>

17名

<事業内容>

講師を招き、ブログ更新方法をプロジェクターにて解説頂いた。また実例でホームページへの投稿を行った。

<事業効果>

各委員会ブログ更新の手順を理解し今年度事業の情報発信に役立った。

ウ. 取材活動

<事業目的・趣旨>

身近なもの(景観・建築物・歴史的な建造物・店舗ファサード・食文化等)地域文化を取り上げ会員の皆様へブログ等を通じ紹介していく。

<開催時期・場所>

29. 3. 10 (金) 岐阜県多治見市

<参加人数>

4名

<事業内容>

岐阜県多治見市に 昨年6月開館した建築家、建築史家の藤森照信氏の設計によるモザイクタイルミュージアム 学芸員、館長に案内頂き取材した。また、磯崎新設計によるセラミックパーク MINO も見学した。

<事業効果>

報告書・ブログ等で会員へ紹介する。また、取材活動を通して委員会活動の意義を見出しに行く。

5 まちづくり委員会

ア. けんちく夜会 (第1回)

<事業目的・趣旨>

委員会開催時に、自由なテーマ設定で人々が集う「けんちく夜会」を開催することで、他の委員会や会員以外の方達との交流を図る。

<開催時期・場所>

28. 6. 15 (水) 浜松市西部ブロック事務局

<参加人数>

会員 16名

(まちづくり 11名・他委員会 5名)

一般 14名

<事業内容>

天竜の森の今について考える、座談会。

<事業効果>

ゲストに招いた「新天竜プロジェクト」のメンバーの案内で、後に森林ガイドツアーが開催され相互交流が図られた。参加者 15 名 (9/17)

イ. けんちく夜会 (第2回)

<事業目的・趣旨>

委員会開催時に、自由なテーマ設定で人々が集う「けんちく夜会」を開催することで、他の委員会や会員以外の方達との交流を図る。

<開催時期・場所>

28. 10. 29(土) 浜松市東区中野町

<参加人数>

会員 14 名 一般 16 名

<事業内容>

会員の堀内氏が事務局をつとめる「中野町を考える会」の活動拠点である、中野町の石蔵にて開催。まちあるきを行った上で、まちを巡る3つの話を聞き、これまでの会の活動や今後の展開について議論を行う。

まちあるき 15:00~16:00

まちを巡る3話 16:00~17:30

懇親会 18:00~20:00

<事業効果>

実際の現場で、まちづくり活動を楽しんで進めている地域住民の話を直に聞くことができた。浄水施設の調査の関係で来浜した愛知県建築士会のヘリテージマネージャーの皆さん、初回夜会のゲストの皆さんも参加され、情報交換をすることができた。

ウ. 上下水道フェスタ

<事業目的・趣旨>

浜松市上下水道部主催の事業に、建築士会が協力。官民共同の事業を展開することで、歴史的建造物の認知を広め、活動を通して建

築士会の公益性を高める。

<開催時期・場所>

28. 7. 23(土) 浜松駅前ギャラリーソラモ

<参加人数>

会員 11 名 催事に多数一般市民が来場

<事業内容>

キャラクター スミポンの譲渡式。委員によるステージ上での講話。全国の水道施設、住吉浄水場、伊豆石の蔵の写真展を開催。

<事業効果>

一般市民の往来が多い場所での開催。広く多くの方に、歴史的建造物の存在や、建築士会の活動を知ってもらうことができた。

エ. 近畿建築祭 ヘリテージマネージャーセッション パネル展

<事業目的・趣旨>

県西部伊豆石建造物調査資料を展示し一般に広く伊豆石を知らせるためと石蔵情報収集

<開催時期・場所>

28. 12. 3 (土) 京都府京都市

<参加人数>

会員 3 名

<事業内容>

伊豆石の蔵のパネル展示を開催。

<事業効果>

歴史的建造物の保存再生という面では多くの知見を持つ方が居られる地域での展示。視点の異なる、様々な意見が寄せられた。

オ. 明治屋醤油見学会

<事業目的・趣旨>

2016年10月に国登録有形文化財に答申された明治屋醤油の建物群を見学し、建物調査、改修、登録に際しての経緯や経験を共有する。

<開催時期・場所>

29. 2. 11 (土) 浜松市浜北区小松

<参加人数>

会員 15 名 一般 10 名

<事業内容>

調査改修に携わった伊藤氏の案内の下、明治屋醤油の建物群を見学した後、フリーディスカッションを行った。

<事業効果>

実際に調査や改修設計に携わった実務者、それから建物の所有者に直接聞くことで、歴史的な建造物の改修を行う上でのポイントを知ることができた。

カ. その他

- ・愛知県建築士会 岡崎支部の方々を住吉浄水場、常光浄水場に案内。浄水施設の調査に関して意見交換を行う。
- ・ヤマハ技術会の広報編集委員の方と、伊豆石の蔵について意見交換会を開催。

西部ブロック地区事業

(1) 小笠地区

・地区会

<事業目的・趣旨>

会員相互の交流

<開催時期・場所>

- 第1回 28.7.8(金) わかまつニューホテル掛川
- 第2回 28.12.3(土) 袋井市中央公民館
- 第3回 29.3.23(木) 掛川商工会議所

<参加人数>

- 第1回 11名
- 第2回 10名
- 第3回 16名

<事業内容>

- 第1回 平成28年度ブロック事業予定
- 第2回 ブロック事業、地区事業の報告
- 第3回 ブロック事業の報告、29年度事業・予算報告

<事業の効果>

会員相互の情報交換が図られた。

・講習会

<事業目的・趣旨>

建築士としての自己研鑽のための講習会

<開催時期・場所>

- 第1回 28.4.22(金) 掛川生涯学習センター

第2回 28.7.8(金) わかまつニューホテル掛川

第3回 28.12.3(土) 袋井市中央公民館

第4回 29.3.23(木) 掛川商工会議所

<参加人数>

- 第1回 41名
- 第2回 12名
- 第3回 10名
- 第4回 17名

<事業内容>

第1回 「長期優良住宅ゾク実習セミナー」

講師: (株)インテグラル坂入徹氏

第2回 「まちセン最新版Qナビの説明等」

講師: (一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター(袋井) 二俣氏

第3回 ①「熊本地震から東海地震を考える」

講師: 静岡県建築安全推進室
松下明生 氏

グラウンドワークス

金井氏

②「まちセンからの最新情報」

講師: (一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター(袋井) 二俣氏

第4回 「建築基準法をめぐる最近の動向」

講師: (一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター(袋井)
筒井氏、山田氏

<事業の効果>

建築士として必要な知識の習得ができた。

・ジモト行政との意見交換会

<事業目的・趣旨>

地元の行政と地元の建築士との情報交換

<開催時期・場所>

28.7.8(金) わかまつニューホテル掛川

<参加人数>

15名(2市の都市建設課より3名含む)

<事業内容>

地元2市(掛川市、菊川市)の都市建設課・都市政策課の担当者との意見交換、及び担当者による各市の平成28年度の制度・補助金の説明

<事業効果>

地元行政担当者との、意思疎通・情報交換が図られた。

・移動パネル展・無料建築相談

<事業目的・趣旨>

地元根付いた建築士の仕事を、地元の住民に知ってもらう為に、パネル展「ジモトのシゴト展」を開催

<開催時期・場所>

パネル展 IN 掛川

28.8.6 (土) ~9.3 (土) 掛川市役所 3F
ホール

パネル展 IN 横須賀

28.9.3 (土) ~9.21 (水) 横須賀図書館
2F ギャラリー

パネル展 IN 菊川

29.2.1 (水) ~2.28 (火) 戸田書店リブレ菊川店

<参加人数>

パネル展示者数 30名 (3回合計)

<事業内容>

地元の建築士会会員の建築士による住宅・建築の作品パネル展。同時に掛川・横須賀・菊川の期間中計7日の無料建築相談を行った。

<事業効果>

地元の市民に、建築士を身近に感じてもらうと共に、建築士会のPRに繋がった。

・しずおか建築士 熊本に行くパネル展

<事業目的・趣旨>

市民に対する建築士会の活動PR

<開催時期・場所>

28.10.21 (金) ~10.23 (日) 横須賀街道民家

<参加人数>

6名

<事業内容>

遠州横須賀街道ちっちゃな文化展に参加し、西部ブロック会員3名による熊本震災視察写真の展示をし東海地震に対する注意喚起を促

した。

<事業効果>

市民に、建築士を身近に感じてもらうと共に、建築士会のPRに繋がった。

(2) 中遠地区

・地区会

<事業目的・趣旨>

会員相互の交流事業

<開催時期・場所>

第1回 28.6.24 (金) 袋井総合センター

第2回 28.12.3 (土) 袋井市中央公民館

第3回 29.3.24 (金) ワークピア磐田

<参加人数>

第1回 13名

第2回 16名

第3回 10名

<事業内容>

第1回 平成28年度ブロック事業予定について

第2回 ブロック事業、地区事業の報告及び参加依頼

第3回 ブロック事業の報告、29年度の事業、予算報告

<事業の効果>

会の円滑な運営に資すことができた。

・講習会

<事業目的・趣旨知

建築士としての新情報の取得、自己研鑽のための講習会

<開催時期・場所>

第1回 28.6.24 (金) 袋井総合センター

第2回 28.12.3 (土) 袋井市中央公民館

第3回 29.3.24 (金) ワークピア磐田

<参加者人数>

第1回 19名

第2回 22名

第3回 10名

<事業内容>

第1回①住宅の各種補助金制度について

講師：(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター

②NPO 法人静岡県災害支援隊の活動紹介

第2回 熊本地震から東海地震を考える

講師：静岡県建築安全推進室

松下明生氏

㈱グラウンドワークス

金井氏

第3回 住宅建築確認の新情報

講師：(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター

<事業の効果>

建築士として必要な新しい知識の習得ができた。

・無料建築相談

<事業目的・趣旨>

一般市民向けに気軽に建築相談できる場所を提供

<開催時期・場所>

予約制で毎週日曜日 磐田市総合健康福祉会館にて開催

今年度は実施報告なし

予約制の定例建築無料相談とは別に県土木事務所・磐田市建築住宅課と共催でわが家の耐震診断実施者宅を訪問し補強計画を紹介

<相談員数>

各回2名

<事業の効果>

市民の安心・安全な住環境に資することができた。

(3) 浜松地区

・無料建築相談

<事業目的・趣旨>

一般市民向けに気軽に建築相談できる場所を提供

<開催時期・場所>

予約制で毎月第2、4土曜日に西部ブロック事務局及び浜北地区は浜北文化センターにて開催した。

今年度は浜松地区で4回開催、浜北地区で1回開催した。

28.5.14、5.28、6.11、6.25、8.27(各土)

予約制の定例建築無料相談とは別にろうきん「住宅セミナー」に講師として2名を派遣した。

<相談員数>

各回2名

<事業の効果>

市民の安心・安全な生活に資することができた。

IV 事業参画団体関係

ア. (公社)日本建築士会連合会

イ. (公社)建築技術教育普及センター

ウ. (一財)日本建築防災協会

エ. (公社)日本建築士会連合会東海・北陸ブロック会議

オ. (一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター

カ. (一社)静岡県建設産業団体連合会

キ. 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会

ク. 静岡県住宅振興協議会

ケ. 静岡県美しいまちづくり推進協議会

コ. 静岡県建築文化研究会

サ. 中部建築賞協議会

シ. 静岡県防犯まちづくり協議会

ス. 静岡県地球温暖化防止県民会議

セ. 静岡県男女共同参画推進会議

ソ. 静岡県東海地震対策士業連絡会

カ. 静岡県不動産流通活性化協議会

キ. 静岡県地域木造住宅生産体制強化地域協議会

ク. ふじのくに木使い推進会議 他